HITACHI

取扱説明書

詳細版

NETTOWER
CX9000

多機能電話機
HI-D-TEL の使い方

このたびは、NETTOWER CX9000 シリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとも、いつでも見られる場所においてお使いください。

ご使用の前に

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただきあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

●各事項は以下の区分に分けて記載しています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物理的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示の意味は次のようになっています。

	△記号は注意(警告も含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。(左図の場合は「感電注意」です)。
	⃠記号は禁止の行為であることをつげるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています(左図の場合は「分解禁止」です)。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています(左図、上の場合は「電源プラグをコンセントから抜け」、下の場合は「必ず実施」です)。

● 本製品はクラスA情報技術装置です。本製品を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

● 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のミニWnnを使用しています。
"Mini Wnn" © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 2000-2002 All Rigths Reserved

安全のために必ずお守りください

■異常時の処置について

⚠警告

万一、内部に水などが入った場合は、回線のモジュラージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

万一、内部に異物が入った場合は、回線のモジュラージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに回線のモジュラージャックをはずし、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

万一、電話機を落としたり、ケースを破損した場合は、回線のモジュラージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

■取扱いについて

⚠警告

電話機に水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。

電話機の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

すきま等から内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

本装置を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

ぬれた手で本装置を操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

回線コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると回線コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電話機裏面にコードを接続する場合、あやまって受話器のコードをMFTまたはLINEに接続しないでください。回線電圧が受話器にかかって火災・感電・故障の原因となります。

⚠注意

電話機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

移動させる場合は、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

回線コードなどを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因とることがあります。

壁掛け式で使用の場合は、落下しないように注意してください。けがの原因となることがあります。

■設置場所について　⚠警告

- 直射日光の当たるところや温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 壁掛け式にする場合は、電話機の重みにより落下しないよう堅固に取り付けてください。けがの原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- テレビ、ラジオ、アンプ、スピーカボックスなど磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。また、テレビ局、ラジオ局などの近くやノイズを発生する大型溶接機器などの近くに設置しないでください。正常に動作しないことがあります。
- 製氷倉庫の中など、特に温度の下がるところに置かないでください。正常に動作しないことがあります。

■お手入れについて　⚠注意

- 静電気集塵型化学ぞうきんは絶対に使わないでください。火災・故障の原因となります。
- アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因となります。
- 汚れがひどいときはうすい中性洗剤をつけた布をかたくしぼって拭き、その後かわいた布でもう一度、からぶきしてください。洗剤や水をスプレーなどで直接かけるようなことはしないでください。故障の原因となります。

■主装置の取り扱いについて　⚠注意

- 主装置の前扉を外さないでください。内部に触れると感電の原因となります。
- 主装置の前扉を外さないでください。蓄電池の電源部や電源の配線が筐体に触れると火災や故障の原因となります。
- 指定のヒューズ以外は使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 主装置の前扉を外さないでください。電源部に触れると火傷の原因となります。

ご使用にあたって

本製品使用時の留意点について

- 重要な内容(登録した方の名前や電話番号など)は必ず紙などに控えておいてください。
- 多機能電話機は、使用方法を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、また、故障したときや修理するときなどに記憶内容が変化・消失することがあります。
- 受話器のマイク側に臭い消しを付ける場合は、できるだけ薄いもの(約0.5mm)をご使用ください。厚めのものは受話器を戻しても電話が切れなくなるときがあります。
- 使用中の携帯電話を、この電話機に近づけると通話にノイズが入ることがあります。

純粋経済損害について

- 本製品の故障、誤操作、不具合あるいは停電等の外部要因などにより、利用の機会を逸したために発生した純粋経済損害および記憶内容が正しく保存、呼び出しができないことによって発生した付随的損害の保証につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

サービス機能の利用にあたって

- 本説明書中のサービス機能によっては、販売店によるデータ設定が必要となるものがあります。販売店に確認してください。

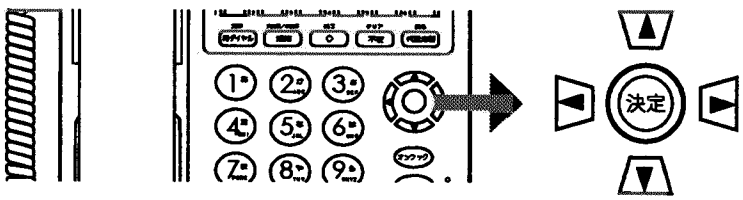
取扱説明書について

- ご使用の前に本書および電話機に同梱されている簡易取扱説明書をお読みください。
- 取扱説明書をお読みになったあとも、いつでも見られる場所に置いてお使いください。 なお本書を紛失したり破損したりして読めなくなった場合は、お買い上げの販売店にてお求めください。

記載表示について

■十字ボタン

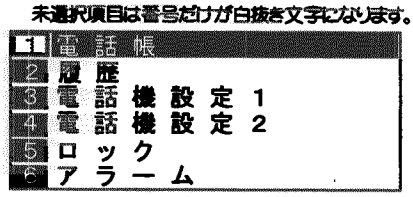
本書では、十字ボタンの図を下記のように簡略化しています。



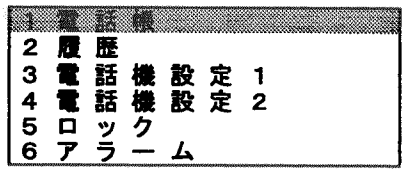
■画面表示

本書で記載されている画面は、実際の画面とは異なっています。

■ 実際の画面
選択した項目(1 電話帳)が白抜き文字になり、
未選択項目は番号だけが白抜き文字になります。

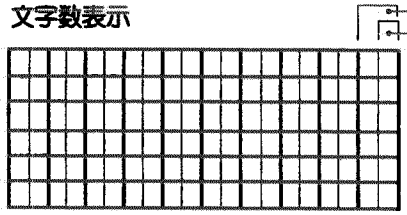


■ 本書での表記
選択した項目は網掛けで記に置き換えております。



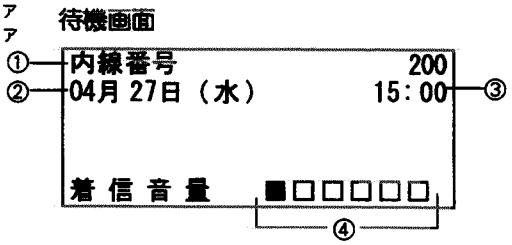
画面の文字数と待機表示画面は次のとおりです。

文字数表示



列：全角10文字　半角20文字
行：6行

待機画面



① 内線番号
② 月日(曜日)
③ 時刻
④ 着信音量
最小：■□□□□□
最大：■■■■■■

目次

● ご使用の前に ・・ 2
● 安全のために必ずお守りください ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
● ご使用にあたって ・・・ 5
● 目次 ・・・ 6
● 電話機の種類 ・・ 9
● 各部の名称と機能 ・・・ 10

第1章 基本操作

外線
● 受話器を上げてかける(オフフックダイヤル) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
● 受話器を置いたままかける(オンフックダイヤル) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
● システム短縮ダイヤルでかける(システム短縮ダイヤル) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
● 可変ダイヤルでかける(可変短縮ダイヤル) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
● ワンタッチオートダイヤルでかける(ワンタッチオートダイヤル) ・・・・・・・・・・・・・・・ 16
● 最後にかけた相手に再度かける(ラストナンバーリダイヤル) ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
● 電話を受ける ・・・ 16
① 回線対応ごとのボタンで受ける(ストレートライン応答) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
② 自テナントの着信を1つのボタンで集中して受ける(自テナントバーチャルライン応答) ・・・ 16
③ 他テナントの着信をボタンで受ける(他テナントバーチャルライン応答) ・・・・・・・・・・ 16
● 通話保留時どの電話機からでも戻れるようにする(一般保留) ・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
● 通話中の相手を他の内線に転送する(転送) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
① 近くの人に転送する(保留転送) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
② 遠くの人に用件を伝えた後転送する(自動転送) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

内線
● 受話器を上げてかける(オフフックダイヤル) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
● 受話器を置いたままかける(オンフックダイヤル) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
● ワンタッチダイヤルでかける(ワンタッチダイヤル) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
● 相手を音声で呼び出す(音声呼出し) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
● 電話を受ける(内線応答) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
● 通話中の相手を他の内線に転送する(転送) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

第2章 応用操作

外線
● 外線発信した電話番号を一時記憶させる(セーブダイヤル) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
● NCC(新電電各社)回線を利用してかける(NCC発信) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
① LCR機能を利用する(国内LCR発信) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
② 任意のLCR回線を選択する(NCC発信) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
③ 国際LCR機能を利用する(国際LCR発信) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
● 通話中にプッシュ(PB)信号を出す(PB信号送出) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

内線
● 相手が話中のため別の内線にかける(リセットコール) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
● 相手が話中のためそのまま通話終了を待つ(オフフックキャンプオン) ・・・・・・・・・・・・・ 24
● 相手が話し終ったら自動的に呼出す(オンフックキャンプオン) ・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
● グループ内の着信を自席の電話で受ける(代理応答) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
● 相手が席に戻ったら相手から電話をもらう(留守中着信表示) ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
● 連絡を待っている相手に簡単な操作でかける(留守中着信自動呼出し) ・・・・・・・・・・・・ 25
● 不在中にかけてきた内線にメッセージで知らせる(不在メッセージ) ・・・・・・・・・・・・・・ 26

外線・内線
● 不在中にかかってくる電話を他の内線に自動転送する(可変不在転送) ・・・・・・・・・・・ 27
● 通話保留時その電話機からしか戻れないようにする(自己保留) ・・・・・・・・・・・・・・ 27
● 一時電話がかかってこないようにする(着信拒否) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
● 通話を個別に保留する(共通保留) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

第3章 付加機能

●通話中に割込んできた電話に応答する(通話中着信表示) ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
●三人で話す(三者通話) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
① 外線1人と内線2人で通話する(1外線三者通話) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
② 外線2人と内線1人で通話する(2外線三者通話) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
③ 内線3人で通話する(内線三者通話) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
● DSS(ワンタッチ呼出装置)を使う(DSS) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
● ヘッドセットで通話する(ヘッドセット通話) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

第4章 画面操作からの機能設定

● 登録項目について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
● 電話帳に登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
● 電話帳を使って電話をかける ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
● 発着信履歴から電話帳に登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
● 短縮ダイヤルを電話帳に登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
● グループ設定を変更する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
● 発信履歴を使って電話をかける ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
● 着信履歴を使って電話をかける ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
● 履歴を保存する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
● 着信音を設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
● 着信音を鳴らさない ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
● ボタン操作音を出さない ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
● 画面コントラストを調節する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
● 省電力モードを使う ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
● アラームを使う ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
● 電話機をロックする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
● 電話機を初期化する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
● ヘッドセットを使う ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
● ハンドセットの条件を変える ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44

第5章 登録操作

● 登録項目について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
● 登録モードにする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
● 個人短縮ダイヤルを登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
● 個人短縮ダイヤルを編集する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
● グループ短縮ダイヤルを登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
● グループ短縮ダイヤルを編集する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
● システム短縮ダイヤルを確認する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
● 支店番号システム短縮ダイヤルを確認する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
● 機能ボタンを登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
● 内線名称を登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
● Myナンバーを登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56

第6章 特定電話機

● 登録項目について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
● 登録モードにする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
● システム短縮ダイヤルを登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
● システム短縮ダイヤルを編集する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
● 支店番号システム短縮ダイヤルを登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
● 支店番号システム短縮ダイヤルを編集する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
● 日付を設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
● 時刻を設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
● 内線名称を登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
● 席入替えを登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
● 発信停止を登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
● 発信停止を解除する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
● 発信停止の登録内線を確認する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64

第7章 その他の電話機

ハンズフリー付電話機

● 外線にかける(外線発信) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
● 外線からの電話を受ける(外線応答) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
● 内線にかける(内線発信) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
● 内線からの電話を受ける(内線応答) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
● ヘッドセットで通話する(ヘッドセット通話) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
● 通話を録音する(通話録音) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
● 高音量ベルを使う(高音量ベル) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
● スピーカ付アンプを使う(スピーカ付アンプ) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69

停電直通用電話機

● 外線にかける(外線発信) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
● 外線からの電話を受ける(外線応答) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70

INS64停電直通用電話機

● 外線にかける(外線発信) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
● 外線からの電話を受ける(外線応答) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71

第8章 付録

● 文字入力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
● 各ボタンの文字割り当て ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
● 十字ボタンの機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
● 機能メニューの表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
● 機能メニュー一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
● こんなメッセージが出たら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
● 電話機角度／画面角度を変える ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
● 電話機のマルチ接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
● 主な仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85

電話機の種類

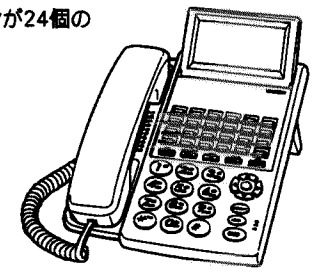
本装置に接続してご利用いただける専用電話機です。

標準電話機(12ボタン)〈HI-12D-TELSD〉

フリーファンクションボタンが12個の標準電話機です。

標準電話機(24ボタン)〈HI-24D-TELSD〉

フリーファンクションボタンが24個の標準電話機です。



標準電話機(36ボタン)〈HI-36D-TELSD〉

フリーファンクションボタンが36個の標準電話機です。

停電直通用電話機(24ボタン)〈HI-24D-TELPF〉

停電時本装置に搭載のバッテリーからも給電が停止した場合、自動的に直通電話(一般回線)に切替わります。

ハンズフリー付電話機(24ボタン)〈HI-24D-TELHF〉

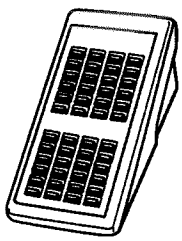
受話器を置いたまま通話できます。また、ヘッドセットや録音装置も接続できます。

INS64停電直通用電話機(24ボタン)〈HI-24D-TELPFI〉

停電時本装置に搭載のバッテリーからも給電が停止した場合、自動的に直通電話(INS64回線)に切替わります。

ワンタッタチ呼出装置(48ボタン)〈HI-48DSSD〉

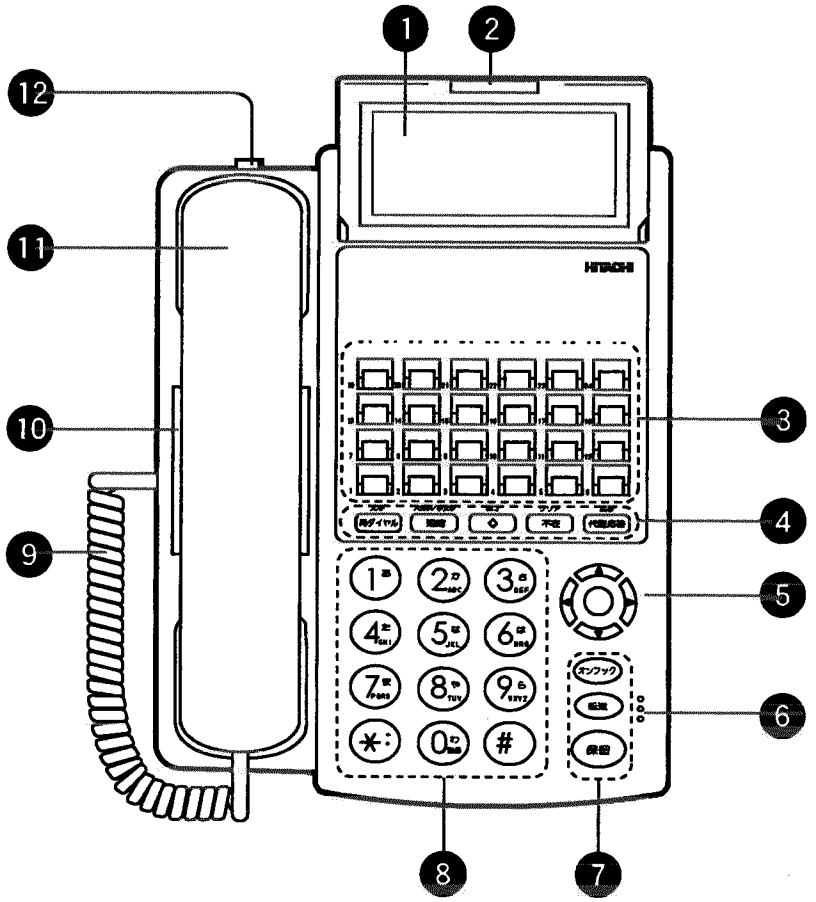
相手先をワンタッチで呼び出せる装置です。これらのボタンは設定によって各種機能ボタンとして利用できます。電話機と一体で使用するものです。



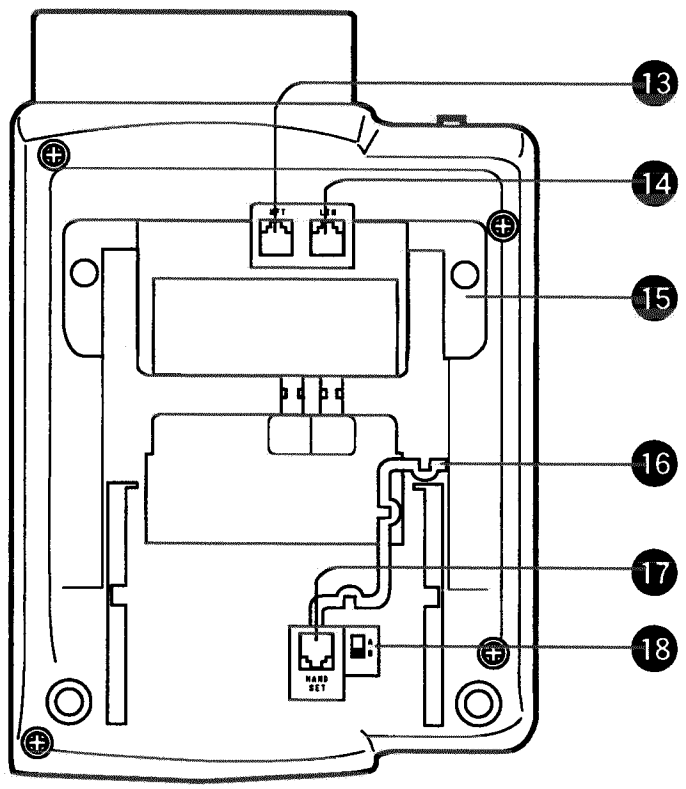
各部の名称と機能

図はHI-24D-TELSD

■正面



■裏面



❶ **表示器**
入力した電話番号や、かかってきた電話番号などを表示します。

❷ **着信ランプ**
着信時に点滅します。

❸ **フリーファンクションボタン**
外線を収容します。空きボタンは設定により特殊ボタンとして使用できます。

❹ **機能ボタン（5個）**

再ダイヤル／文字ボタン
直前にかけた相手に再度かけるときや、文字入力時に文字種切替るときに使います。

短縮／大文字／小文字ボタン
短縮ダイヤルで電話をかけるとき、文字入力時時に大文字／小文字を切替るときに使います。

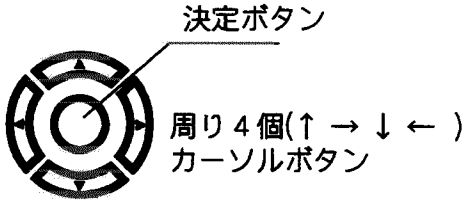
◇／終了ボタン
ダイヤルを間違えた際に捕捉している回線を一旦切るとき（販売店の設定により別機能にもなります。）や、電話帳操作を終了するとにきに使います。

不在／クリアボタン
自席にかかってくる電話を行先の内線に転送するときや、電話帳操作時文字を消去するときに使います。

代理応答／戻るボタン
近くの電話機の着信に応答するときや、電話機能メニューの１つ上の階層に戻るときに使います。

❺ **十字ボタン**

電話帳登録時などのメニューを呼び出すときや各種音量調節するときに使います。



詳細：十字ボタンの機能(P.76)

❻ **マイク**
ハンズフリー通話を利用する場合のマイクです。

❼ **機能ボタン（3個）**

オンフックボタン
受話器を置いたままダイヤルするときになど使います。

転送ボタン
通話中の電話を他の内線にまわすときなどに使います。

保留ボタン
通話中の相手を一時待たせるときなどに使います。

❽ **ダイヤルボタン**
電話番号や文字、記号を入力するときに使います。

❾ **カールコード**

❿ **スピーカ**
オンフックダイヤルを利用時、相手を呼出す音などが聞こえます。

⓫ **ハンドセット**
相手と通話するときに使います。

⓬ **ハンドセットフック**
電話機が壁掛式のとき、通話中の相手を一時待たせる際にハンドセットを掛けておく所です。

⓭ **MFT**
ブランチ接続する場合に、一方の電話機の回線コードを接続します。

⓮ **LIN**
回線コードを接続します。

⓯ **角度アダプタ**
電話機の角度を変えるときに使います。

⓰ **ハンドセットコード固定溝**

⓱ **HANDSET**
ハンドセットコードを接続します。

⓲ **切替スイッチ**
ブランチ接続されているとき、一方の電話機はA側、もう一方はB側に設定するものです。
(設定は販売店が行いますので設定を変えないでください。)

MEMO

第1章

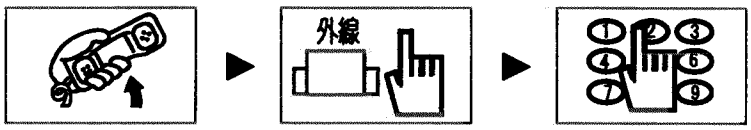
基本操作

この章は、基本的な電話機の使い方についての説明です。

外線 基本操作

受話器を上げてかける

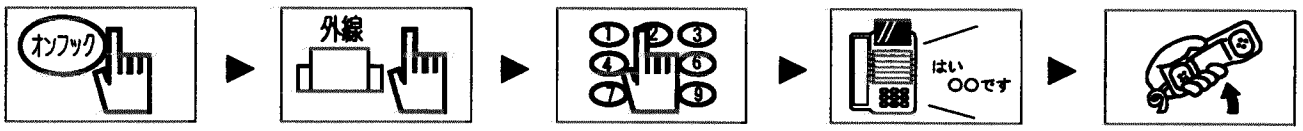
オフフックダイヤル



1. 受話器を上げる。
2. 空いている外線ボタンを押す。
   - 外線ランプが緑点灯になります。
3. 相手番号をダイヤルする。

受話器を置いたままかける

オンフックダイヤル



1. オンフックボタンを押す。
   - オンフックランプが赤点灯します。
2. 空いている外線ボタンを押す。
   - 外線ランプが緑点灯になります。
3. 相手番号をダイヤルする。
4. スピーカで相手の応答を確認する。
5. 受話器を上げる。

システム短縮ダイヤルでかける

システム短縮ダイヤル

全内線が共通で使える短縮ダイヤルです。

1. 受話器を上げる。
2. 短縮ボタンを押す。
3. 短縮番号を押す。

- あらかじめシステム短縮ダイヤルに相手先を登録してください（登録P.59）。
- 操作3. の短縮番号は、取付け時、販売店により設定されます（発信操作P.15）。

可変短縮ダイヤルでかける

可変短縮ダイヤル

グループ用と個人用があります。システム短縮ダイヤルとは別枠で使用できます。

1. 受話器を上げる。
2. 短縮ボタンを押す。
3. 短縮番号を押す。

- あらかじめ可変短縮ダイヤルに相手先を登録してください（登録P.47、49）。
- 操作3. の短縮番号は、取付け時、販売店により設定されます（発信操作P.15）。

システム短縮／可変短縮ダイヤルの発信操作

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する「システム短縮ダイヤル」と、これとは別枠で使用できる「可変短縮ダイヤル」があります。可変短縮ダイヤルには、グループを組んだ中だけで使用する「グループ用」と、各内線が独自に使用する「個人用」があります。これらはどちらか選択になっています。

この内容を販売店に確認してください

システム短縮ダイヤルの場合

1. **発信操作方法は、①②③のどれになっているか。**
   設定によって複数利用することもできます。
2. **登録相手数の最大数はいくつか。**
   最大数によって短縮番号の桁数（×××）が変わります。

可変短縮ダイヤルの場合

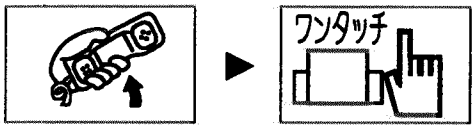
1. **利用できるのは、グループ用か個人用か。**
   どちらか選択になっています。
2. **発信操作方法は、①②③のどれになっているか。**
3. **登録相手数の最大数はいくつか。**
   最大数によって短縮番号の桁数（××）が変わります。

	短縮ダイヤル	
	システム短縮ダイヤル	可変短縮ダイヤル
		グループ用 / 個人用
発信操作	① 短縮＋××× ② 短縮＋＊＋××× ③ 短縮＋＃＋×××	① 短縮＋×× ② 短縮＋＊＋×× ③ 短縮＋＃＋××
短縮番号	●短縮番号の桁数は、最大相手先登録数によって変わります。 （例） ■10件のとき　：0（1件目）～9（10件目） ■100件のとき　：00（1件目）～99（100件目） ■1,000件のとき　：000（1件目）～999（1,000件目） ■10,000件のとき　：0000（1件目）～9999（10,000件目） ※システム短縮ダイヤルは、最大10,000件です。 ※可変短縮ダイヤルは、最大100件です。	

下線の部分が短縮番号です。登録のとき、＊、＃も一緒に入力してください。

ワンタッチオートダイヤルでかける

ワンタッチオートダイヤル

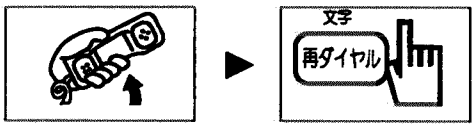


1. 受話器を上げる。　2. ワンタッチボタンを押す。

- 外線が収容されていない空きボタンをワンタッチオートダイヤルボタンとして使用します（登録P.52）。
- あからじめワンタッチボタンに外線相手を登録してください（登録P.52）。

最後にかけた相手に再度かける

ラストナンバーリダイヤル



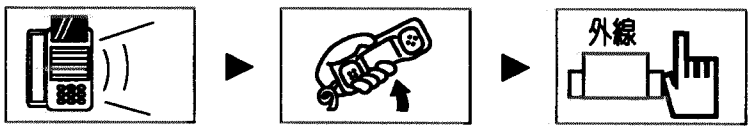
1. 受話器を上げる。　2. 再ダイヤルボタンを押す。

- 「セーブダイヤル（P. 22）」を有効にすると、本機能は使用できなくなります。
- 本機能でかけることができる相手先（①外線のみ②外線・専用線③外線・専用線・内線）は取り付け時に設定されます。販売店に確認してください。

電話を受ける

外線応答

① 回線対応ごとのボタンで受ける（ストレートライン応答）



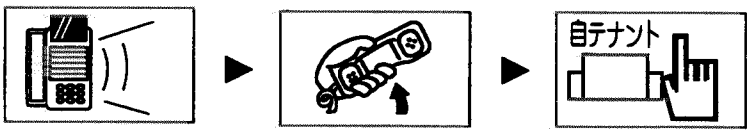
着信音が鳴り、外線ランプが赤の速い点滅になります。

1. 受話器を上げる。

2.赤の速い点滅をしている外線ボタンを押す。
・外線ランプが緑点灯になります。

- 着信時、外線ランプが緑の速い点滅のときは、受話器を上げると即応答になります。

② 自テナントの着信を1つのボタンで集中して受ける（自テナントバーチャルライン応答）

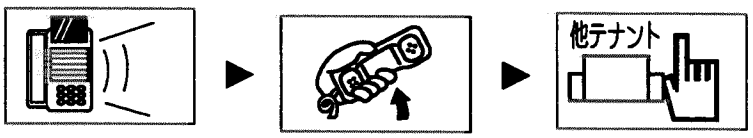


着信音が鳴り、自テナントの着信ランプが赤の速い点滅になります。

1. 受話器を上げる。

2.赤の速い点滅をしている自テナントの応答ボタンを押す。

③ 他テナントの着信をボタンで受ける（他テナントバーチャルライン応答）



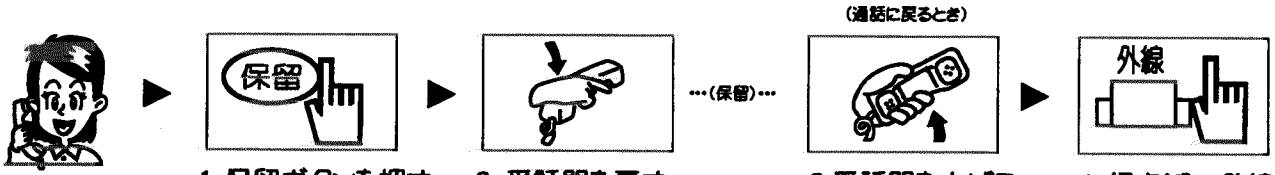
着信音が鳴り、他テナントの着信ランプが赤の速い点滅になります。

1. 受話器を上げる。

2.赤の速い点滅をしている他テナントの応答ボタンを押す。

通話保留時どの電話機からでも戻れるようにする

一般保留



通話中に…

1. 保留ボタンを押す。
・外線ランプが緑の点滅になります。

2. 受話器を戻す。

…(保留)…

3.受話器を上げる。

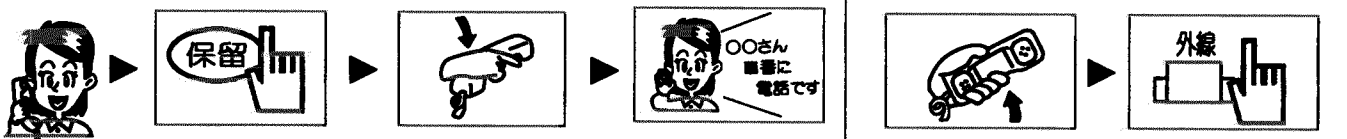
4. 緑点滅の外線ボタンを押す。

- この方法で保留すると、保留した電話機以外の電話機からでも保留を解除できます。
- 保留中は、相手にメロディが流れます。

通話中の相手を他の内線に転送する

転送

① 近くの人に転送する（保留転送）



通話中に…

1. 保留ボタンを押す。
・外線ランプが緑の点滅になります。

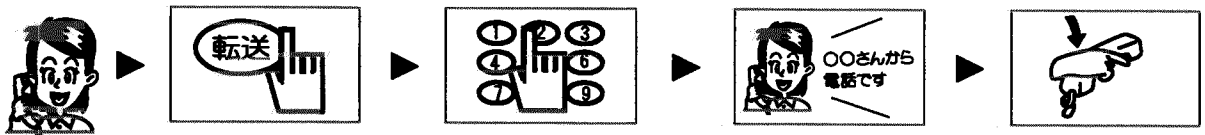
2. 受話器を戻す。

3. 相手に転送の旨を伝える。

1. 受話器を上げる。

2. 赤点滅している外線ボタンを押す。

② 遠くの人に用件を伝えた後転送する（自動転送）



通話中に…

1. 転送ボタンを押す。
・プップ…と聞こえます。

2. 転送先の内線番号をダイヤルする。

3. 相手に転送の旨を伝える。

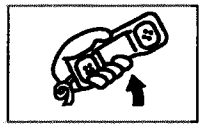
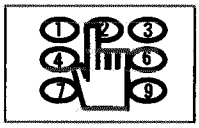
4. 受話器を戻す。

- 操作3. で、相手が話中、または応答がないときは、再度、転送ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。

内線 基本操作

受話器を上げてかける

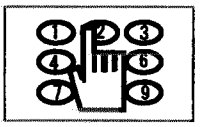
オフフックダイヤル

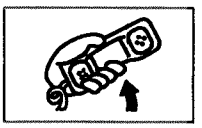



1. 受話器を上げる。
2. 相手番号をダイヤルする。

受話器を置いたままかける

オンフックダイヤル



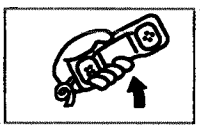
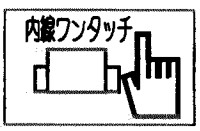


1. オンフックボタンを押す。
2. 相手番号をダイヤルする。
3. スピーカで相手の応答を確認する。
4. 受話器を上げる。

・オンフックランプが赤点灯します。

ワンタッチダイヤルでかける

ワンタッチダイヤル

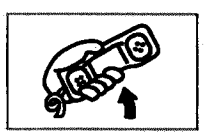
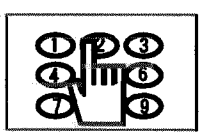
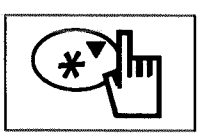
1. 受話器を上げる。
2. 内線ワンタッチボタンを押す。

● 空いている外線ボタンを内線ワンタッチダイヤルボタンとして使用します。
● あらかじめ内線相手先を登録してください（登録P.52）。

相手を音声で呼び出す

音声呼出し

相手電話機のスピーカから話しかけることができます。

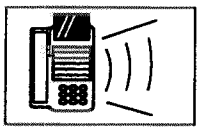




1. 受話器を上げる。
2. 相手番号をダイヤルする。
3. 呼出し音が聞こえているときに ＊ を押す。
   ・警頭音（ブーッ）が聞こえます。
4. 相手を呼び出す。

● 操作3. で ＊ を押す毎に、音声呼び出しと信号音呼び出しとが交互に替わります。
● 本機能を利用できるのは、相手の電話機が多機能電話機の場合だけです。

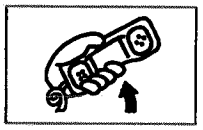
電話を受ける

内線応答



着信音が鳴る。

・オンフックランプが速い点滅になります。



1. 受話器を上げる。

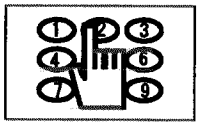
通話中の相手を他の内線に転送する

転送

通話中に…

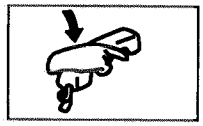
1. 転送ボタンを押す。

・プププ…と聞こえます。



2. 転送先の内線番号をダイヤルする。

3. 相手に転送の旨を伝える。



4. 受話器を戻す。

● 操作3. で、相手が話中、または応答がないときは、再度、転送ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。

MEMO

第2章

応用操作

この章は、電話機をさらに使いこなすための応用操作（便利な機能）についての説明です。

外線 応用操作

外線発信した電話番号を一時記憶させる

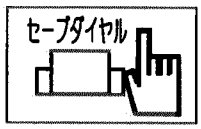
セーブダイヤル

外線にかけたとき、再度その相手にかける可能性がある場合には、次の操作をすると、ダイヤルした番号を一時記憶させておけます。何度でも発信できるため一時的なワンタッチボタンとして便利です。

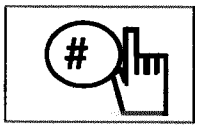
登録

1. 受話器を置いたまま保留ボタンを押す。

2. 再ダイヤルボタンを押す。
   - 再ダイヤルランプが赤点灯します。
   - 直前にかけた先の電話番号が表示されます。



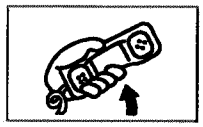
3. セーブダイヤルボタンを押す。
   - セーブダイヤルランプが赤点灯します。
   - 直前にかけた先の電話番号が登録されます。



4. #ボタンを押す。

発信

1. 受話器を置いたまま再ダイヤルボタンを押す。



2. 受話器を上げる。

解除

1. 受話器を置いたまま保留ボタンを押す。

2. 再ダイヤルボタンを押す。

3. セーブダイヤルボタンを押す。
   - セーブダイヤルランプが消えます。

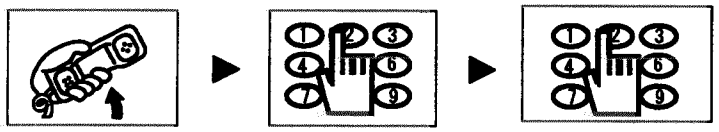
4. #ボタンを押す。

NCC(新電電各社)回線を利用してかける

NCC発信

① LCR機能を利用する（国内LCR発信）

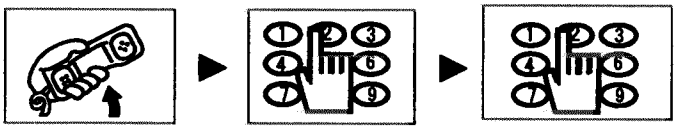
市外に電話をかけるとき、NTT、NCC各社の料金を比較し、最も安い回線を自動的に選択してダイヤルします。



1. 受話器を上げる。
2. 国内LCR発信特番をダイヤルする。
3. 相手番号をダイヤルする。

② 任意のLCR回線を選択する（NCC発信）

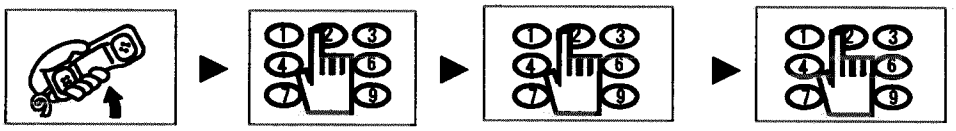
任意のNCC回線を選択するとき、NCCアクセスをダイヤルする代わりに、各社の発信特番をダイヤルするだけでNCCアクセス番号が送出されます。



1. 受話器を上げる。
2. NCC各社の発信特番をダイヤルする。
3. 相手番号をダイヤルする。

③ 国際LCR機能を利用する（国際LCR発信）

海外に電話をかけるとき、KDD、第2KDDの料金を比較し、安い方の回線を自動的に選択してダイヤルを送出します。



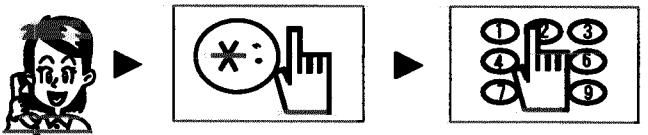
1. 受話器を上げる。
2. 国際LCR発信特番をダイヤルする。
3. 国番号をダイヤルする。
4. 相手番号をダイヤルする。

● 通話料金は第2KDD回線を選択しても、KDD回線を使ったものとして表示されます。

通話中にプッシュ(PB)信号を出す

PB信号送出

ダイヤル回線を利用している場合でも、銀行の残高照会など、プッシュ(PB)信号を必要とするサービスを利用できます。



通話中に…

1. ＊ボタンを押す。
   ・ダイヤルパルスからプッシュ信号に替わります。
2. ダイヤルする。
   ・プッシュ信号でダイヤルされます。

内線 応用操作

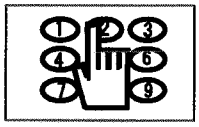
相手が話中のため別の内線にかける

リセットコール

かけた先の内線が話し中または応答がないとき、別の末尾番号1桁をダイヤルすると、末尾番号の違う内線を呼び出せます。一旦電話を切って再度かけ直す手間が省けます。

相手が話し中または応答がない…

▶



1. 末尾1桁をダイヤルする。

<例> 内線310が話中 → 2をダイヤル →内線312を呼び出します。

相手が話中のためそのまま通話終了を待つ

・・
オフフックキャンプオン

かけた先の内線が話し中のとき、そのまま待っていると相手が受話器を戻した時点で自動的に呼び出しを開始します。

話中音が聞こえている…

▶

1. 待合せ登録音に変わる。

▶

2. そのまま待つ。

▶

3. 相手が受話器を戻すと呼び出し音に変わる。

▶

4. 相手が応答したら通話する。

● 本機能と「オンフックキャンプオン」(下記)はどちらか選択です。(販売店設定)

相手が話し終ったら自動的に呼出す

・・
オンフックキャンプオン

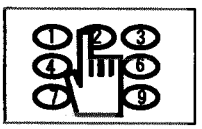
かけた先の内線が話し中のとき、この登録をしておくと相手が話し終り次第呼び出します。

話中音が聞こえている…

▶

1. 転送ボタンを押す。

▶

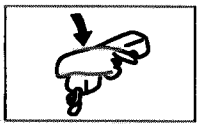


2. 待合せ特番を押す。

▶

3. 登録音が聞こえる。

▶

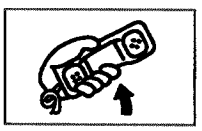


4. 受話器を戻す。

▶

5. 相手が話し終わと呼返し音がします。

▶



6. 受話器を上げる。

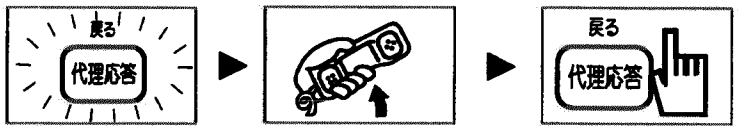
・呼び出し音が聞こえます。
相手の応答を待ってください。

● 本機能と「オフフックキャンプオン」(上記)はどちらか選択です。(販売店設定)

グループ内の着信を自席の電話で受ける

代理応答

代理応答グループ内にかかってきた電話は、自席の電話機で応答できます。



代理応答ランプが速い点滅になる。

1. 受話器を上げる。

2. 代理応答ボタンを押す。

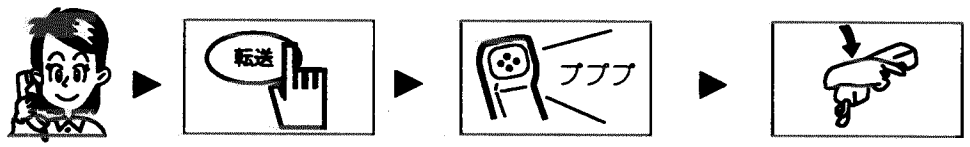
● 代理応答グループは取付け時に設定されます(販売店設定)。

相手が席に戻ったら相手から電話をもらう

留守中着信表示

<該当:留守中着信表示サービスが有効に設定されている場合>
内線に電話をかけた際に応答がないとき、次の操作をしておくと相手の電話機にこちらの内線番号を表示させておくことができます。相手が席に戻ったら、相手から電話をかけてもらうとができます。

セット



呼び出し中に…

1. 転送ボタンを押す。

2.登録音が聞こえる。

3. 受話器を戻す。

相手の電話機

着信あり		15 13:00
400		
15日(火)	15:00	450
着信音量	■■■□□□	

・転送ランプが速い点滅になります。

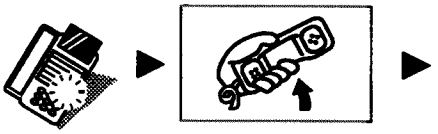
● 留守中着信表示サービスの有効・無効は、取付け時に設定されます(販売店設定)。

連絡を待っている相手に簡単な操作でかける

留守中着信自動呼出し

「着信あり」と表示されている場合は、内線相手が電話を待っているときです。このとき簡単な操作でその相手に電話をかけることができます。

着信あり		15 13:00
400		
15日(火)	15:00	450
着信音量	■■■□□□	



・転送ランプが速い点滅になり、相手の内線番号が表示されます。

1. 受話器を上げる。

2. 転送ボタンを押す。

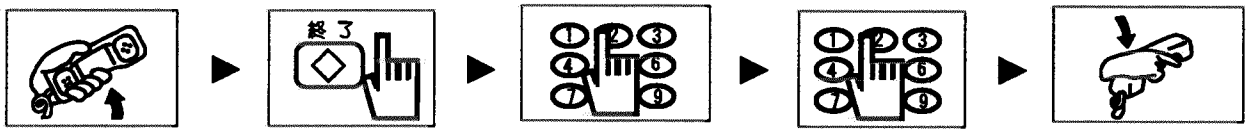
● 留守中着信の受付は最大5件です。
● 2件以上受付けているとき、この操作でダイヤルされるのは、留守中着信表示の内線番号です。
● 2件以上受付けているとき、受話器を置いたまま転送ボタンを押すと、2件目の内線番号を表示します。
● 受付ている内線番号表示を消すときは、受話器を置いたまま不在ボタンを押してください。

不在中にかけてきた内線にメッセージで知らせる

不在メッセージ

席を外すときや出張などの際に次の操作をしておくと、この間に電話をかけてきた相手電話機の表示器にメッセージで知らせることができます。

登録

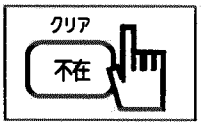


1. 受話器を上げる。
2. ◇ボタンを押す。
   ・◇ランプが赤点灯します。
3. 不在メッセージ番号(1~9,0)を押す。
4. 表示にそって時・分・日付などを入力する。
5. 登録音が聞こえたら受話器を戻す。
   ・不在ランプは点灯したままです。

●操作3. の入力 ●操作4. の入力

不在メッセージ番号	表示内容
1	「××時」:「××分」まで不在
2	「××時」:「××分」に戻ります
3	「××日付」日まで休み
4	「××日付」日まで出張
5	「××日付」日に出社
6	「××内線番号××」で会議中
7	「××時」:「××分」まで休憩中
8	「××時」:「××分」まで食事中
9	「××時」:「××分」まで外出中
0	帰宅しました

解除



1. 受話器を置いたまま不在ボタンを押す。
   ・不在ランプが消えます。

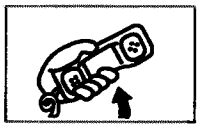
外線・内線 応用操作

不在中にかかってくる電話を他の内線に自動転送する

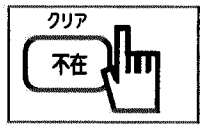
可変不在転送

他の場所で打合わせなどをするときに、本操作をしておくと、自席にかかってくる電話は自動的に登録先の内線に転送されます。

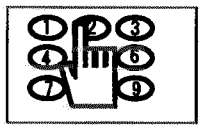
登録



1. 受話器を上げる。

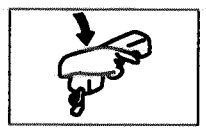


2. 不在ボタンを押す。
・不在ランプが点灯します。



3. 行先きの内線番号をダイヤルする。

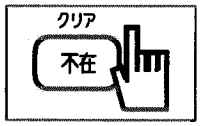
4. しばらくすると登録音が聞こえる。



5. 受話器を戻す。
・不在ランプはお点灯したままです。

● 操作4. の後、そのまま待っていると登録先の相手を呼び出します。

解除



1. 受話器を置いたまま不在ボタンを押す。
・不在ランプが消えます。

通話保留時その電話機からしか戻れないようにする

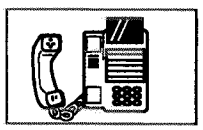
自己保留

自分が保留した通話を、他の人が間違えて取らないようにしておくことができます。

登録

通話中に…

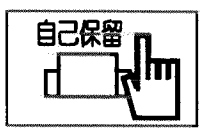
1. 自己保留ボタンを押す。
・自己保留ランプが緑点灯になります。



2. 受話器を外しておく。

… この間は保留中 …

解除



3. 自己保留ボタンを押す。
・自己保留ランプが消えます。

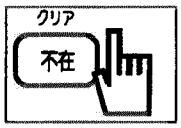
● 外線が収容されていない空きボタンを、自己保留ボタンとして使用します(登録P.52)。
● この方法で保留すると、保留した電話機からのみ保留を解除できます。
● 保留中は相手にメロディが流れます。
● 操作2. で受話器を戻してしまうと呼び返し音が鳴ります。このときは、受話器を上げて、再度保留操作をしてください。

一時電話がかかってこないようにする

着信拒否

電話を一時受けたくないとき、これを登録しておくと、その間は着信を拒否できます。

登録

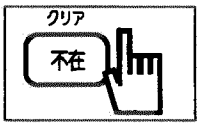


1. 受話器を置いたまま不在ボタンを押す。
・不在ランプが点灯します。

● 着信拒否を登録中に、電話をかけてきた相手には下記の音が聞こえます。

着信の種類	相手が聞こえる音
内線着信	話中音またはリオーダ音
外線転送着信	
個別着信	呼び出し音
DI（ダイヤルイン）着信	呼び出し音または話中音
DIL（ダイレクトインライン）着信	呼び出し音
DID（ダイレクトインダイヤル）着信	呼び出し音または話中音

解除

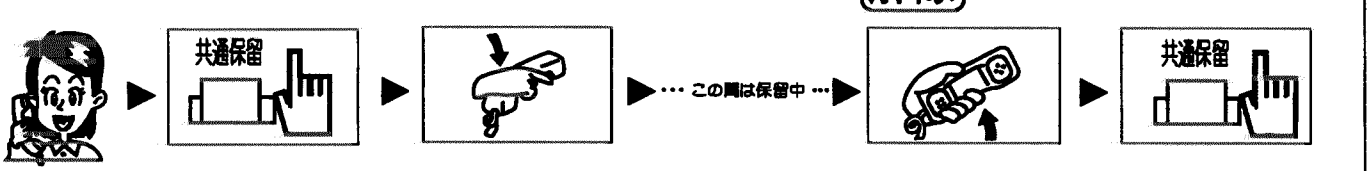


1. 受話器を置いたまま不在ボタンを押す。
・不在ランプが消えます。

通話を個別に保留する

共通保留

<該当：共通保留ボタンが設定されている場合>
通話を個別に保留できるため、複数の通話が保留されていても間違えずに目的の相手に戻れます。



通話中に・・

1. 共通保留ボタンを押す。
・共通保留ランプが緑点滅になります。

2. 受話器を戻す。

3. 受話器を上げる。

4. 緑点滅している共通保留ボタンを押す。

● 外線が収容されていない空きボタンを、共通保留ボタンとして使用します（販売店設定）。

第3章

付加機能

この章は、電話機の付加機能についての説明です。

付加機能

通話中に割込んできた電話に応答する

通話中着信表示

内線(A)と通話中に内線(B)から電話がかかってくると、特殊な着信音が聞こえます。通話中の相手に待ってもらい、かかってきた電話に応答できます。

内線(A)と通話中に…

1. 内線(B)から着信が入る。
   ・転送ランプが速い点滅になります。
2. 転送ボタンを戻す。
3. 内線(A)が保留され、内線(B)との通話になります。

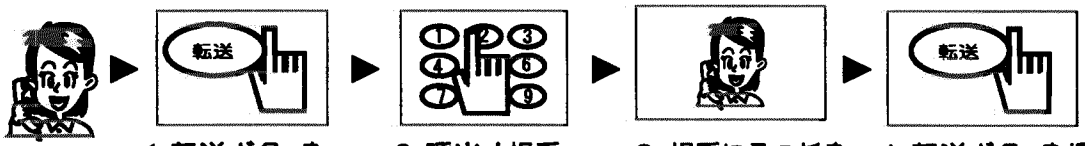
● 操作3. の後で、転送ボタンを押すと、内線(B)が保留されて内線(A)との通話になります。転送ボタンを押すごとに通話相手が変わります。

三人で話す

三者通話

① 外線1人と内線2人で通話する（1外線三者通話）

外線と通話中に、内線相手を呼び出して3人で通話できます。



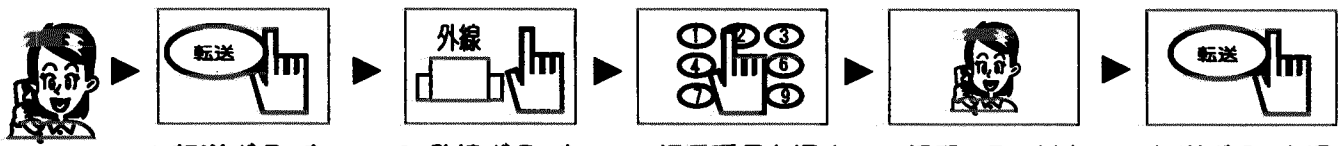
外線と通話中に…

1. 転送ボタンを押す。
   ・プップと聞こえます。
2. 呼出す相手内線番号を押す。
3. 相手にその旨を伝える。
4. 転送ボタンを押す。
   ・3人で通話できます。

● 相手の応答がないときは転送ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。
● 操作4. の後、転送ボタンを押すごとに[外線との二者] →[三者] →[内線との二者] →[三者] に変わります。
● 三者通話を始めた人が受話器を戻すと、あとの二人どうしの通話になります。

② 外線2人と内線1人で通話する（2外線三者通話）

外線(A)と通話中に、もう一人の外線(B)を呼び出して3人で通話できます。



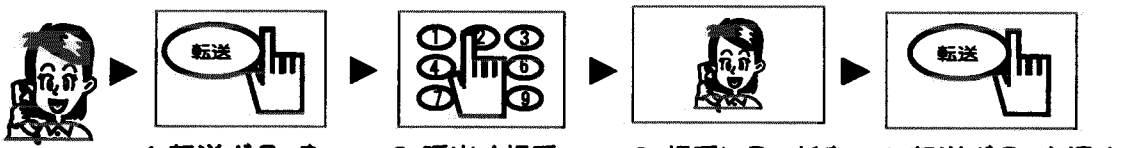
外線と通話中に…

1. 転送ボタンを押す。
   ・プップと聞こえます。
2. 外線ボタンを押す。
3. 相手番号を押す。
4. 相手にその旨を伝える。
5. 転送ボタンを押す。
   ・3人で通話できます。

● 相手の応答がないときはキャンセルボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。
● キャンセルボタンは、外線が収容されていない空きに設定されます(登録P.52)。
● 操作5. の後、転送ボタンを押すごとに[外線(A)との二者] →[三者] →[外線(B)との二者] →[三者] に変わります。

③ 内線3人で通話する（内線三者通話）

内線(A)と通話中に、もう一人の内線(B)を呼び出して3人で通話できます。



内線と通話中に…

1. 転送ボタンを押す。
・プップと聞こえます。

2. 呼出す相手内線番号を押す。

3. 相手にその旨を伝える。

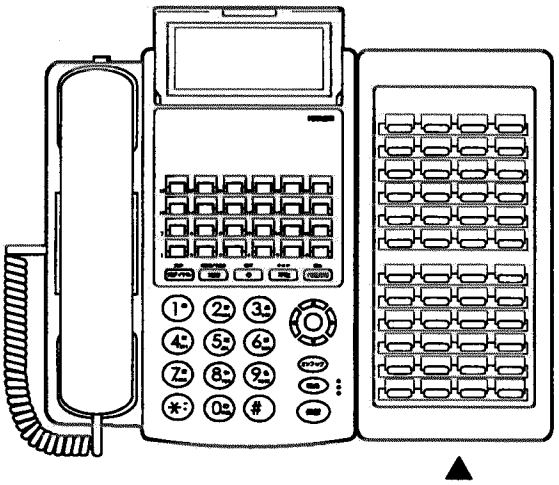
4. 転送ボタンを押す。
・3人で通話できます。

- 相手の応答がないときは転送ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。
- 操作4. の後、転送ボタンを押すごとに[内線(A)との二者] →[三者] →[内線(B)との二者] →[三者] に変わります。
- 三者通話を始めた人が受話器を戻すと、あとの二人どうしの通話になります。

DSS(ワンタッチ呼出装置)を使う

DSS

本機器のボタン(48個)は、外線ボタン、外線および内線のワンタッチボタンとして利用できます。



DSS(ワンタッチ呼出装置)

外線ボタン

- ボタンの設定は取付時に販売店が行います。
  操作方法は本説明書中の外線ボタンの扱いと同じです。

外線ワンタッチボタン

- 空きボタンには任意に外線番号を登録できます(登録P.52)。

内線ワンタッチボタン

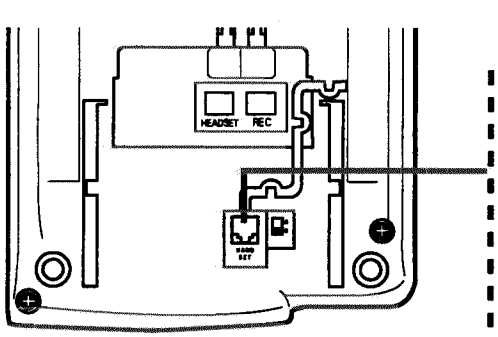
- 空きボタンには任意に内線番号を登録できます(登録P.52)。

ヘッドセットで通話する

ヘットセット通話

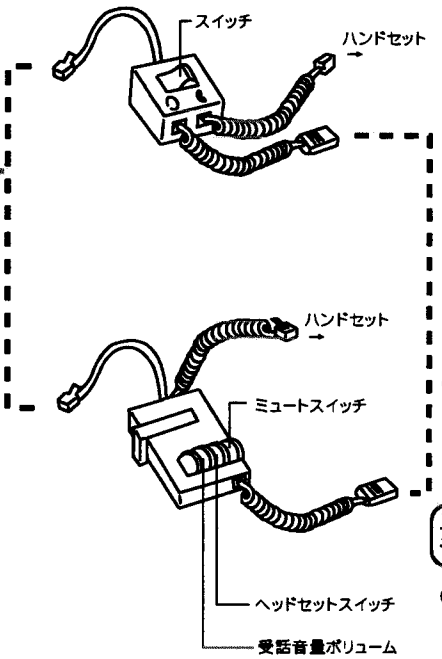
受話器の代わりにヘッドセットを使って通話できます。

ヘッドセットを接続するには電話機の改造が必要です。
販売店にご用命ください。



⚠警告

スイッチボックスまたはユニバーサルモジュラーアダプタのコードを誤ってMFTまたはLINEに接続しないでください。回線電圧がコードにかかって火災・感電・故障の原因となります。



スイッチボックス

●スイッチボックス使用の場合

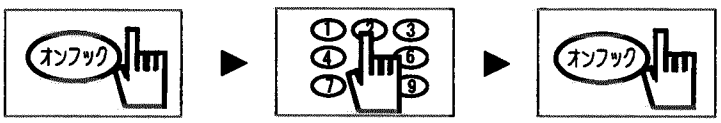
・スイッチをヘッドセット側にしてください。
・受話音量は電話機の音量ボタンで調節します。

ユニバーサル
モジュラーアダプタ

●ユニバーサルモジュラーアダプタ使用の場合

・受話音量は本品の受話音量ボリュームで調節します。

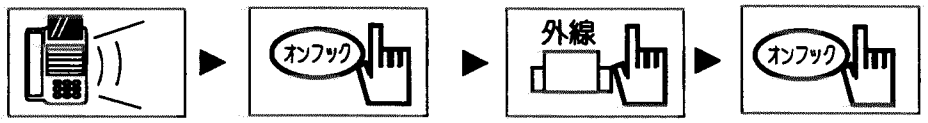
電話をかける



1. オンフックボタンを押す。
2. 相手番号を押す。
3. 通話が終ったらオンフックボタンを押す。

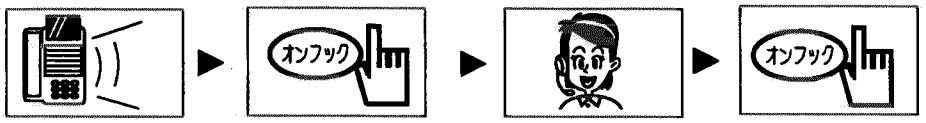
電話を受ける

■ 外線からの電話に応答する



着信音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
2. 速い赤点滅の外線ボタンを押す。
3. 通話が終ったらオンフックボタンを押す。

■ 内線からの電話に応答する



着信音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
2. 通話する。
3. 通話が終ったらオンフックボタンを押す。

第4章

画面操作からの機能設定

この章は、各電話機から画面モードによる機能設定についての説明です。

● この章の内容操作は全て受話器を置いたままでの操作になります。

画面操作からの機能設定

登録項目について

各電話機から画面入力モードで下記の項目を操作できます。

システム関係

	項　目	内　容
1	電話帳登録	電話帳に相手番号を登録、変更、削除できます。
2	電話帳発信	電話帳に登録してある相手に発信する操作です。
3	発着信履歴電話帳登録	発信、着信履歴に残っている相手先を電話帳に登録します。
4	短縮ダイヤル電話帳登録	システム短縮ダイヤルに登録してある相手を電話帳に登録できます。
5	グループ設定変更	グループ名称や着信音を設定できます。
6	発信履歴発信	発信履歴に残っている相手先にダイヤルできます。
7	着信履歴発信	着信履歴に残っている相手先にダイヤルできます。
8	履歴保存	発着信履歴として保存する条件を設定します。

その他

	項　目	内　容
9	着信音設定	電話がかかってきたときの音色(メロディ)を選択できます。
10	着信音の停止	電話がかかってきたときの音を停止できます。
11	ボタン操作音の停止	ボタンを操作したときの音を停止できます。
12	画面コントラスト調節	画面のコントラストを調節できます。
13	省電力設定	電話機の各種ボタンランプの節電ができます。
14	アラーム設定	指定した時刻にアラーム音を鳴らせます。
15	電話機ロック	自分の電話機を他の人から操作できないようにロックできます。
16	電話機初期化	電話機の設定内容を工場出荷時に戻すことができます。
17	ヘッドセット接続設定	受話器の替わりにヘッドセットを使用するときに設定します。
18	ハンドセット環境設定	受話器に関する内容を設定できます。

電話帳に登録する

よくかける相手の名前、電話番号、着信音等を電話帳に登録できます。

機能メニューの表示(P.77)で「1電話帳」→「2登録」を表示させる。

必須 必須項目(名前、電話番号1)は必ず入力してください。
入力がないと登録されません。

① 1 名前（必須）
2 読み仮名
3 電話番号1（必須）
4 グループ
5 着信音色
6 確認

「1名前」選択→ 決定 押す。

② 名前？
田中一郎
漢全

名前を入力→ 決定 押す。

☞ 文字入力(P.74)

③ 読み仮名？
ﾀﾅｶｲﾁﾛｳ
カナ半

読み仮名を入力→ 決定 押す。

④ 電話番号1の特番？
0

電話番号の特番を入力→ 決定 押す。

・電話番号1の特番を入力します。
・特番は外線等にかける際に電話番号の前に付ける番号です。電話番号とは分けて入力してください。最大5桁です。
・特番は管理者にお問い合わせください。

⑤ 電話番号1
0249441554

電話番号を入力→ 決定 押す。

・電話番号は最大32桁です。

⑥ 1 グループ登録へ
2 電話番号2
3 電話番号3

電話番号1件だけの登録時は「1グループ登録へ」を選択→ 決定 押す。

・1つの電話帳に3件まで電話番号を登録できます。複数登録の場合は操作④⑤を繰返してください。

⑦ 1 グループ01
2 グループ02
3 グループ03
4 グループ04
5 グループ05
←（ 1／ 4）→

保存先のグループを選択→ 決定 押す。

・グループ数は20(01～20)です。
・グループ名称を登録してあるとその名称が表示されます。

⑧ 1 なし
2 ｷｬｯｽﾙ
3 ファンファーレ
4 セレナーデ
5 ユモレスク
←（ 1／ 3）→

着信音を選択→ 決定 押す。

・電話帳に登録する外線番号については、個別に着信音を選択することができます。
・「1なし」にすると、着信音はグループ着信音設定や着信形態で鳴ります。

⑨ 001
田中一郎
ﾀﾅｶｲﾁﾛｳ
1 00249441554
2
3

内容を確認→ 決定 押す。

・ここで 決定 押すと登録されます。

! 決定 を押さないで操作を終了すると入力した内容は登録されずに消去されます。

- 電話帳への登録は最大500件(メモリ番号:001～500)です。空いているメモリ番号へ自動的に登録されます。
- 1件の電話帳に電話番号を3件まで登録できます。なお、3件登録しても電話帳の件数は減りません。
- 電話帳をグループに分けて管理できます。グループには「会社」「部」などの名前をつけることができます。
電話帳を登録する前にグループ名を登録しておくと便利です。
- 名前と電話番号を入力するだけで登録できます。ただし、検索条件が減ることになります。

画面操作からの機能設定（つづき）

電話帳に登録した内容の変更・削除操作です。

機能メニューの表示(P.77)で「1電話帳」を表示させる。

変更

変更する詳細画面を表示する。 ☞電話帳検索(P.37)

①

```
001
田中一郎
ﾀﾅｶｲﾁﾛｳ
1 00249441554
2 00249441221
3 00364040514
```

決定 押す。

②

```
1発信番号選択
2変更
3消去
4全消去
5グループ消去
```

「2変更」を選択→ 決定 押す。

③

```
1 名前（必須）
2 読み(仮名)
3 電話番号（必須）
4 グループ
5 着信音色
6 着信確認
```

電話帳の登録(P.35)と同様に内容変更→登録画面を表示→ 決定 押す。

消去

消去する詳細画面を表示する。 ☞電話帳検索(P.37)

①

```
001
田中一郎
ﾀﾅｶｲﾁﾛｳ
1 00249441554
2 00249441221
3 00364040514
```

決定 押す。

②

```
1発信番号選択
2変更
3消去
4全消去
5グループ消去
```

「3消去」を選択→ 決定 押す。

・「消去」…選択した電話帳1件を消去します。
・「全消去」…すべての電話帳を消去します。
・「グループ消去」…選択した電話帳が含まれるグループの全電話帳を消去します。

③

```
田中一郎
を消去しますか？
1いいえ
2はい
```

「2はい」を選択→ 決定 押す。

・消去に時間がかかる場合があります。

電話帳を使って電話をかける

電話帳に登録されている相手先をいくつかの検索方法で呼び出して発信できます。

機能メニューの表示(P.77)で「1電話帳」→「1検索」を表示させる。

検索画面

①

```
1 名前検索
2 メモリ番号検索
3 グループ検索
4 電話番号検索
5 読み仮名検索
```

いずれかを選択→ (決定) 押す。

●「1名前検索」を選択時

<検索キーワードを入力>

```
名前？


漢全
```

先頭数文字を入力する。
●ソート：シフトJISコード順

●「2メモリ番号検索」を選択時

```
メモリ番号？
```

メモリ番号を入力する。
●ソート：メモリ番号順

●「3グループ検索」を選択時

```
1グループ01
2グループ02
3グループ03
4グループ04
5グループ05
←（ 1／ 4）→
```

グループを選択する。
●ソート：メモリ番号順

●「4電話番号検索」を選択時

```
電話番号？
```

先頭数桁を入力する。
●ソート：電話番号順
(特番は除く)

●「5読み仮名検索」を選択時

```
読み仮名？


ｶﾅ半
```

先頭数文字を入力する。
●ソート：五十音順

検索結果が無い場合と電話帳未登録の場合は、
「データがありません」と表示されます。

<検索結果が表示されます>

②

```
1 田中一郎
2 田中工業所
3 田中商事
4 田中事務所
5 田中運輸
←（ 1／ 2）→
```

選択→ (決定) 押す。

・この時点で発信する場合(電話番号1のみ)は、選択→受話器を上げるか、(オンフック) 押す。
・相手と通話中に転送する場合 (転送) 押す。

<電話帳の詳細が表示されます>

③

```
001
田中一郎
ﾀﾅｶｲﾁﾛｳ
1 00249441554
2 00249441221234567 8
3 00364040514
```

(決定) 押す。

・ここでは電話番号(特番含む)の表示桁数は18桁までです。
・この時点で発信する(電話番号1のみ)場合は受話器を上げるか (オンフック) 押す。
・該当の電話番号を示す項番と同じダイヤルボタンを押すと、その番号へ発信します。なお、通話中に操作した場合は、通話中ダイヤル送出となります。
・◀▶で検索条件を満たした次候補と前候補を表示します。

↓

```
001
田中一郎
00249441554

田中工業所
キャッスル
```

④

```
1 発信番号選択
2 変更
3 消去
4 全消去
5 グループ消去
```

「1発信番号選択」を選択→ (決定) 押す。

↓ <詳細な電話番号が表示されます>

```
1 00249441554

2 00249441221234567 8
  9012345
3 00364040514
```

発信先を選択→ (決定) 押す。

ダイヤルされます。

・ここでは電話番号(特番含む)を最大の37桁まで表示します。
・(発信) の代わりに受話器を上げるか、(オンフック) 押しても発信できます。
・相手と通話中に転送する場合 (転送) 押す。

発着信履歴から電話帳に登録する

発着信履歴に保存されている相手先番号を電話帳に登録できます。

機能メニューの表示(P.77)で「2履歴」→「1発信履歴」または「2着信履歴」を表示させる。

<発信履歴画面>

① 発信履歴　NO.01
04月 28日（火）　15:44
00249441554

登録したい履歴を表示させて→ 決定 押す。

② 1 発信
2 電話帳登録
3 1件削除
4 全削除

「2電話帳登録」選択→ 決定 押す。

③ 1 名前（必須）
2 読み仮名
3 電話番号（必須）
4 グループ
5 着信音色
6 確認

必須の名前を入力する。

・履歴に表示されている電話番号は自動的に「電話番号1」に登録されますので、ここでは最低でも必須の名前を入力してください(発着信履歴画面で名称表示がある場合は、名前入力を省略できます。)
・必要に応じて「電話帳登録」(P.35)と同様に入力してください。
・名前入力だけで登録する場合は、名前を決定後 戻る を押して上記画面に戻り"6確認"を選択して OK 押す。

<確認画面>

④ 010
田中一郎
1 00249441554
2
3

登録して→ 決定 押す。

・この画面で 決定 押すと登録されます。

短縮ダイヤルを電話帳に登録する

システム短縮ダイヤル(P.59)に登録されている相手先を電話帳に登録できます。

機能メニューの表示(P.77)で「1電話帳」→「4ダウンロード」→「1短縮ダイヤル」を表示させる。

① 1グループ01
2グループ02
3グループ03
4グループ04
5グループ05
←（1／4）→

保存先のグループを選択→ 決定 押す。

・グループ数は20(01～20)です。
・グループ名称を登録してあるとその名称が表示されます。

② 短縮番号？

短縮番号を入力→ 決定 押す。

・短縮番号は最大5桁です。
・登録されている短縮番号は管理者に問い合わせてください。

<短縮ダイヤルの情報表示>

③ 短縮番号：50
グループ：01
発信特番：0
0249441554
田中工業
ﾀﾅｶｺｳｷﾞｮｳ

確認して→ 決定 押す。

・読み仮名や電話番号を追加するときは、「電話帳」から編集してください。
・名称が登録されていない短縮ダイヤルはメモリ番号が名前に仮登録されます。

グループ設定を変更する

電話帳に登録してある、グループ名およびグループ毎の着信音色の変更ができます。

機能メニューの表示(P.77)で「1電話帳」→「3グループ」を表示させる。

名称

<グループ選択画面>

①
```
1グループ01
2グループ02
3グループ03
4グループ04
5グループ05
←（　1／　4）→
```
グループ選択→ 決定 押す。

(例) 1グループ01

②
```
1名称変更
2着信音色
```
「1名称変更」選択→ 決定 押す。

③
```
名称？


漢全
```
読み仮名を入力→ 決定 押す。

☞文字入力(P.74)

・全角10文字、半角20文字まで入力できますが、グループ選択画面時に表示されないため全角9文字、半角18文字までの入力をおすすめします。

着信音

<グループ選択画面>

①
```
1グループ01
2グループ02
3グループ03
4グループ04
5グループ05
←（　1／　4）→
```
グループ選択→ 決定 押す。

(例) 1グループ01

②
```
1名称変更
2着信音色
```
「2着信音色」選択→ 決定 押す。

③
```
1なし
2キャッスル
3ファンファーレ
4セレナーデ
5ユモレスク
←（　1／　3）→
```
着信音を選択 →決定 を押す。

(例) 2キャッスル

・「1なし」に登録すると着信音は着信形態で鳴ります。

! ここで設定した着信音よりは、各電話帳に設定した方が優先されます。

発信履歴を使って電話をかける

一度かけた先の電話番号が、発信履歴として最新の分から最大30件まで記憶されています。これらを表示させて電話をかけることができます。

機能メニューの表示(P.77)で「2履歴」→「1発信履歴」を表示させる。

発信

<発信履歴画面>

①
```
1発信履歴
2着信履歴
```
「1発信履歴」選択→ 決定 押す。

・発信履歴が無い場合は「発信履歴未登録です」と表示されます。

②
```
発信履歴　　NO.01
04月28日（火）　15:44
田中一郎
00249441554
```
履歴が表示されます。
▲/▼でかける先の電話番号を選択→ 決定 押す。

↓
```
1発信
2電話帳登録
3 1件消去
4全消去
```
「1発信」選択→ 決定 押す。

消去

発信操作②の画面を表示させ

①
```
発信履歴　　NO.01
04月28日（火）　15:44
田中一郎
00249441554
```
消去する履歴を選択→ 決定 押す。

↓
```
1発信
2電話帳登録
3 1件消去
4全消去
```
「消去」を選択→ 決定 押す。

(例) 3 1件消去

②
```
履歴を消去しますか？
1いいえ
2はい
```
「2はい」選択→ 決定 押す。

・「1件消去」…選択した履歴1件を消去します。
・「全消去」…すべての発信履歴を消去します。
・消去に時間がかかる場合があります。

画面操作からの機能設定（つづき）

着信履歴を使って電話をかける

かけてきた先の電話番号が、着信履歴として最新の分として最大30件まで記憶されています。これらを表示させて電話をかけることができます。

機能メニューの表示(P.77)で「2履歴」→「2着信履歴」を表示させる。

発信

<着信履歴画面>

①
```
1 発信履歴
2 着信履歴
```
「2着信履歴」選択→ (決定) 押す。

・着信履歴が無い場合は「着信履歴未登録です」と表示されます。

②
```
着信履歴          NO.01
04月 28日（火）   12:11
田中 一郎
00249441554
不在着信
```
履歴が表示されます。
▲/▼でかける先の電話番号を選択→ (決定) 押す。

・着信に応答しなかった場合は「不在着信」と表示されます。

↓
```
1 発信
2 電話帳登録
3 1件消去
4 全消去
```
「1発信」選択→ (決定) 押す。

消去

発信操作②の画面を表示させ

①
```
着信履歴          NO.01
04月 28日（火）   15:44
田中 一郎
00249441554
```
消去する履歴を選択→ (決定) 押す。

↓
```
1 発信
2 電話帳登録
3 1件消去
4 全消去
```
「消去」を選択→ (決定) 押す。

(例) 2 1件消去

②
```
履歴を消去しますか？
1 いいえ
2 はい
```
「2 はい」選択→ (決定) 押す。

・「1件消去」…選択した履歴1件を消去します。
・「全消去」…すべての着信履歴を消去します。
・消去に時間がかかる場合があります。

履歴を保存する

発信／着信履歴として保存する条件を設定できます。

機能メニューの表示(P.77)で「3 電話機設定1」→「3履歴保存条件」を表示させる。

発信履歴

<発信履歴保存条件画面>

①
```
1 外線発信履歴
2 専用線発信履歴
3 内線発信履歴
```
いずれか選択→ (決定) 押す。

(例) 1外線発信履歴

・「外線発信履歴」…外線に発信したとき
・「専用線発信履歴」…専用線に発信したとき
・「内線発信履歴」…内線に発信したとき

②
```
外線発信履歴
保存する
1 保存する
2 保存しない
```
いずれか選択→ (決定) 押す。

(例) 1保存する

着信履歴

<着信履歴保存条件画面>

①
```
1 着信通話履歴
2 不在着信履歴
```
いずれか選択→ (決定) 押す。

(例) 1着信通話履歴

・「着信通話履歴」… 着信に応答して通話したとき
・「不在着信履歴」… 着信に応答できなかったとき

②
```
着信通話履歴
保存する
1 保存する
2 保存しない
```
いずれか選択→ (決定) 押す。

(例) 1保存する

着信音を設定する

お好みの着信音を選択できます。

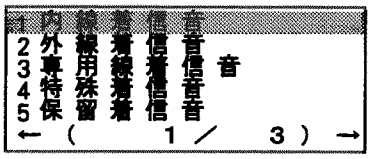
各着信音の優先順位は下記のとおりです。
「電話帳着信音」>「グループ着信音」>「ボタン着信毎音色」>「着信種別毎音色」

着信種別毎

機能メニューの表示(P.77)で「3 電話機設定 1」→「1サウンド設定」→「1着信種別毎音色」を表示させる。

<着信種別選択画面>

①

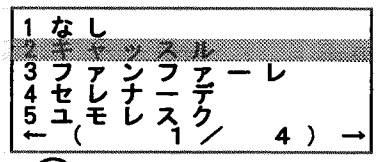


いずれか選択→ (決定) 押す。

(例) 1内線着信音

・「内線着信音」…内線からの着信
・「外線着信音」…外線からの着信
・「専用線着信」…専用線からの着信

②



いずれか選択→ (決定) 押す。

(例) 2キャッスル

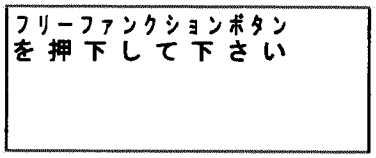
・(決定) 押すと確認画面が出ますので、設定するときは (決定) 押します。

ボタン毎

機能メニューの表示(P.77)で「3 電話機設定 1」→「1サウンド設定」→「2ボタン着信毎音色」を表示させる。

<着信毎音色択画面>

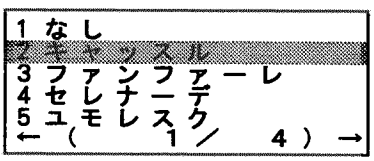
①



設定するフリーファンクションボタンを押す。

・フリーファンクションボタンに設定されている機能によらず設定できますので、設定が無効な場合もあります。

②



いずれか選択→ (決定) 押す。

(例) 2キャッスル

・(決定) 押すと確認画面が出ますので、設定するときは (決定) 押します。

もともとボタンを押しても音が鳴らないような設定(システムで停止設定している)の場合、本設定は無効です。

着信音を鳴らさない

着信音が鳴らないように設定できます。

機能メニューの表示(P.77)で「3 電話機設定 1」→「1サウンド設定」→「3 最小着信音」を表示させる。

<最小着信音画面>

「2消音」選択→ (決定) 押す。

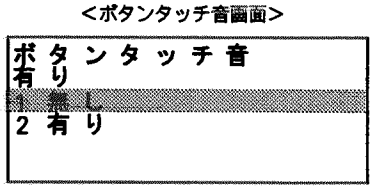
・「最小」… 着信音量を最小にしたとき着信音が鳴る。
・「消音」… 着信音量を最小にしたとき着信音が鳴らない。

ボタン操作音を出さない

ボタンを操作したときに鳴るボタンタッチ音を停止することができます。

機能メニューの表示(P.77)で「3 電話機設定 1」→「1サウンド設定」→「4 ボタンタッチ音」を表示させる。

<ボタンタッチ音画面>



「1無し」選択→ (決定) 押す。

・「有り」…音を鳴らす。
・「無し」…音を鳴らさない。

画面操作からの機能設定（つづき）

画面コントラストを調節する

画面コントラストを調節することができます。

機能メニューの表示(P.77)で「3 電話機設定 1」→「2 LCD設定」→「1 コントラスト」を表示させる。

<コントラスト画面>

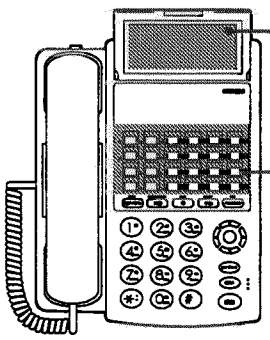
```
コ ン ト ラ ス ト
1 淡 く
2 濃 く
3 初 期 値
■■■■■■■■■■□□□□□□□□□□
```

画面を見ながら▲/▼ 押す。

・コントラストは20段階です。
▲ …濃くなる。
▼ …淡くなる。

省電力モードを使う

待機状態のとき、画面のバックライトを消したり、フリーファンクションボタンランプの点灯を止めるなどができます。



バックライト系：
- 電話機を使用しているときの明るさを2段階に設定できます。
- 発信操作をしないで10秒以上経過すると明度が落ちます。
- 一定時間経過するとバックランプが消えるように設定できます。さらに、バックライトの再点灯条件を制限できます。

ボタンランプ系：
- 一定時間経過するとフリーファンクションボタンのランプを消すことができます。

バックライト系

機能メニューの表示(P.77)で「3 電話機設定 1」→「2 LCD設定」を表示させる。

■明るさ調節

<バックライト明度画面>

```
ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ 明 度
標 準
1 標 準
2 省 電 力
```

「3バックライト明度」を選択で左記画面を表示させ「2省電力」選択→ 決定 押す。

■着信時のバックライト点灯条件

<バックライト点灯時間画面>

```
ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ 点 灯 時 間
1 分
1 1 分
2 3 分
3 1 0 分
4 消 灯 な し
```

「4バックライト点灯時間」を選択で左記画面を表示させいずれか選択→ 決定 押す。

・消灯までの時間の選択です。
「消灯なし」で点灯したままです。

■一定時間経過後にバックライト消灯

<着信時バックライト有無画面>

```
ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ 着 信 時 有 無
点 灯
1 点 灯
2 消 灯
```

「5バックライト着信時有無」を選択で左記画面を表示させ「2消灯」選択→ 決定 押す。

■電話機操作時のランプ点灯条件

<操作時バックライト有無画面>

```
ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ 操 作 時 有 無
点 灯
1 点 灯
2 消 灯
```

「6バックライト操作時有無」を選択で左記画面を表示させ「2消灯」選択→ 決定 押す。

省電力系

機能メニューの表示(P.77)で「3 電話機設定 1」→「4 拡張機能」を表示させる。

■省電力モード

<省電力モード設定画面>

```
省 電 力 モ ー ド 設 定
無 効
1 無 効
2 有 効
```

「2省電力モード設定」を選択で左記画面を表示させ「2有効」選択→ 決定 押す。

■省電力モードへの時間

<省電力モード移行時間画面>

```
省 電 力 移 行 時 間
1 分
1 1 分
2 3 分
3 1 0 分
4 3 0 分
```

「3省電力移行時間」を選択で左記画面を表示させ「4 30分」選択→ 決定 押す。

- 省電力モードが起動すると、LCDのバックライトとフリーファンクションボタンのランプが消灯します。
- 「省電力移行時間」＜「バックライト点灯時間」のときは、「省電力移行時間」でバックライトが消灯します。
- フリーファンクションボタンランプが消灯状態にあるときに、着信があったり、ボタン操作をすると点灯状態に戻ります。

アラームを使う

指定した時刻にアラーム音でお知らせすることができます。

機能メニューの表示(P.77)で「6 アラーム」を表示させる。

設定

<アラーム設定画面>

①
```
時 分
現 在    15:30
設 定    00:00
1 設定時間の変更
2 アラームの設定
3 アラームの解除
```
「1設定時間の変更」選択→ (決定) 押す。

②
```
時 分
0000
2000
```
時刻を入力→ (決定) 押す。

↓

```
時 分
現 在    15:30
設 定    20:00
1 設定時間の変更
2 アラームの設定
3 アラームの解除
```
「2 アラームの設定」選択→ (決定) 押す。

③
```
内線番号          100
04 月 27 日( 水 )  15*30

着 信 音 量  ■■■□□□
```

・設定すると時分間の「:」が「*」に変わります。

解除

<アラーム設定画面>

①
```
時 分
現 在    15*00
設 定    00*00
1 設定時間の変更
2 アラームの設定
3 アラームの解除
```
「3アラームの解除」選択→ (決定) 押す。

↓

```
内線番号          100
04 月 27 日( 水 )  15:00

着 信 音 量  ■■■□□□
```

・解除すると時分間の「*」が「:」に戻ります。

電話機をロックする

電話機の設定内容を他の人が操作できないようロックできます。

暗証番号

機能メニューの表示(P.77)で「3 電話機設定1」→「4 拡張機能」→「4 パスワード登録」を表示させる。

<パスワード登録画面>

①
```
パ ス ワ ー ド ?
```
現在のパスワードを入力→ (決定) 押す。

・初期値は「0000」に設定されています。
ロックする場合、このパスワードは必ず変更してください。
パスワードの桁数は4～8桁です。
・パスワードは忘れないよう記録しておいてください。
万一忘れた場合には管理者にお問い合わせてください。

②
```
新 パ ス ワ ー ド 入 力 ?
```
新しいパスワードを入力→ (決定) 押す。

③
```
新 パ ス ワ ー ド 再 入 力 ?
```
確認のため再度新しいパスワードを入力→ (決定) 押す。

ロック

機能メニューの表示(P.77)で「5 ロック」を表示させる。

<パスワードロック画面>

```
ロ ッ ク 解 除 中 で す
1 解 除 す る
2 ロ ッ ク す る
```
「2 ロックする」選択→ (決定) 押す。

・ロックすると、待機画面から「電話機メニュー」「電話帳検索」「発信履歴」の画面を呼出す際にパスワード入力が必要です。

解除

機能メニューの表示(P.77)で「5 ロック」を表示させ、「1 解除する」を選択する。

電話機を初期化する

電話機を初期化すると、各種設定内容が工場出荷時の状態になります。

機能メニューの表示(P.77)で「3 電話機設定 1」→「4 拡張機能」→「5 初期化」を表示させる。

＜電話機初期化画面＞

```
初期化しますか？
1 いいえ
2 はい
```

「2 はい」選択→決定 押す。

・初期化に時間がかかる場合があります。
・初期化前に戻すことはできません。
・電話帳、履歴も消去されます。

ヘッドセットを使う

■ 本設定を変えるときは管理者等にご連絡ください。

ハンドセットの換わりにヘッドセットを使って通話できます。

機能メニューの表示(P.77)で「3 電話機設定 1」→「4 拡張機能」→「1 ヘッドセット付加」を表示させる。

＜ヘッドセット付加画面＞

```
ヘッドセット付加
無し
1 無し
2 有り
```

「2 有り」選択→決定 押す。

ハンドセットの条件を変える

受話器の各種レベル設定ができます。

■ 本設定を変えるときは管理者等にご連絡ください。

機能メニューの表示(P.77)で「3 電話機設定 1」→「1 サウンド設定」→「5 レベル設定」を表示させる。

■ 受話器からの送話レベル変更するとき

＜送話レベル設定画面＞

```
送話レベル
1 小さく
2 大きく
3 初期化

■□□
```

▲/▼で調節します。3段階です。

■ フロアノイズが気になるとき

＜フロアノイズ設定画面＞

```
フロアレベル抑圧
無効
1 無効
2 有効
```

どちらか選択→決定 押す。

■ 受話器から聞こえる自身の声が気になるとき

＜側音設定画面＞

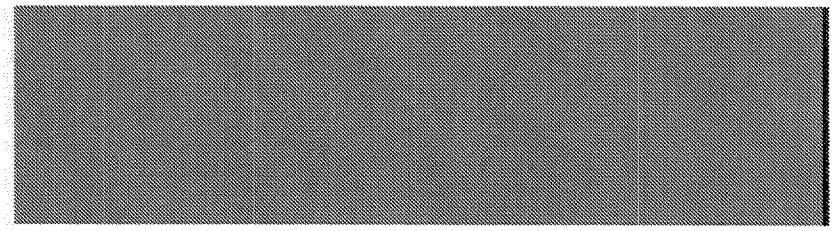
```
側音
1 小さく
2 大きく
3 初期値

■■■■■□□□□□
```

▲/▼で調節します。10段階です。

第5章

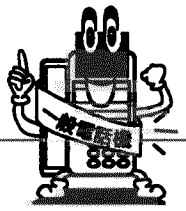
登録操作



この章は、各電話機からの登録操作についての説明です。

- この章の内容操作は全て受話器を置いたままでの操作になります。
- この章の内容を操作している場合に、説明と違う表示になったときは、第8章「こんなメッセージが出たら」(P. 84)をご覧ください。

各電話機からの登録操作



各電話機から下記の項目について登録や確認ができます。

登録項目について

	項　　目		内　　容
1	個人可変短縮ダイヤルの登録	※	各内線が使用できる個人可変短縮ダイヤルの登録です。
2	グループ可変短縮ダイヤルの登録	※	グループ内の内線が使用できるグループ可変短縮ダイヤルの登録です。
3	システム短縮ダイヤルの確認		全内線が使用できるシステム短縮ダイヤルの内容確認です。
4	支店番号システム短縮ダイヤル(店番短縮ダイヤル)の確認		短縮番号の代わりに、支店番号でシステム短縮ダイヤルの発信をする機能を設定している場合の内容確認です。
5	オートダイヤルボタンの登録	※	外線や内線の相手番号をワンタッチで発信できるボタンの登録です。
6	外線ワンタッチボタンの登録	※	短縮番号の内容をワンタッチで発信できるボタンの登録です。
7	内線ワンタッチボタンの登録	※	内線への発信や着信の代理応答をワンタッチで行えるボタンの登録です。
8	自己保留ボタンの登録	※	通話保留時にその電話機からしか戻れないようにするボタンの登録です。
9	転送完了ボタンの登録	※	通話中の相手を他の内線に転送する際に受話器を戻す代わりに使用できるボタンの登録です。
10	DISC(disconnect)ボタンの登録	※	ダイヤルを間違った時や通話をやめてダイヤルし直す時に使用できるボタンの登録です。
11	キャンセルボタンの登録	※	通話中の相手を他の内線に転送する際に転送をやめて待たせている相手に戻るときに使用できるボタンの登録です。
12	セーブダイヤルボタンの登録	※	最後に発信した番号を記憶し再び発信できるボタンの登録です。
13	メッセージウェイトボタンの登録	※	相手が席に戻ったら相手から電話をもらう(留守中着信表示)ときのセットに使用できるボタンの登録です。
14	他グループピックアップボタンの登録	※	他のグループへの着信を代理応答できるボタンの登録です。
15	登録ボタン内容の確認	※	登録してあるボタン内容の確認です。
16	内線名称の登録	※	各内線の内線名称の登録です。
17	Myナンバー登録・席移動		①Myナンバー登録:Myナンバー(各自の内線番号)を電話機に録します。 ②席移動開始:Myナンバーを登録した電話機を移動先に接続した後に席移動を行います。 ③Myナンバー表示:電話機に登録したMyナンバーの確認です。 ④グループデータコピー:席移動先のグループデータをコピーします。

※登録したデータは、定時ダンプによって交換機に記憶されます。

登録モードにする

上記項目を操作するために、次のモードにしてください。

待機画面

①
```
内線番号          3000
05月16日(月)      15:00

着信音量    ■■■□□□
```

待機画面で(決定)押す。

②
トップメニュー
```
1 電話帳
2 履歴/転送機設定1
3 電話機設定2
4 ロック
5 アラーム
6
```

③
```
1 電話帳
2 履歴/転送機設定1
3 電話機設定2
4 ロック
5 アラーム
6
```

「4 電話機設定2」を選択→(決定)押す。

登録モード

④
```
1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー
```

P.47~56の内容は、この画面にしてからの操作になります。

個人短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する"システム短縮ダイヤル"と各内線が独自に使用できる"個人可変短縮ダイヤル"と、グループ内の内線で共通に使用できる"グループ可変短縮ダイヤル"があります。

短縮番号について

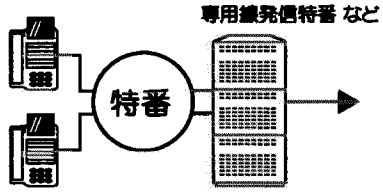
「システム短縮／可変短縮ダイヤル」(P. 15)を参照して、短縮番号がどう設定されているかを販売店に確認してください。

発信種別を確認してください

システムが下記のどの発信種別になっているかを販売店に確認してください。

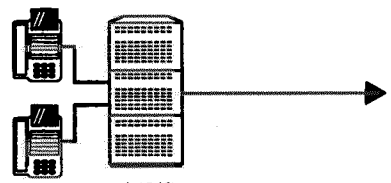
かけるときに特番が必要

●特番発信 〔例〕外線発信特番
LCR発信特番
専用線発信特番 など



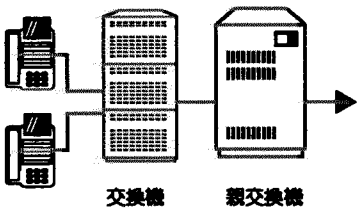
外線に直接かけられる

●外線発信



親交換機を介してかける

●親PBX発信



①
```
1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー
```
登録モードから
「1短縮ダイヤル」を選択→ 決定 押す。

②
```
1 短縮ボタン発信
2 特番発信
```
「1短縮ボタン発信」を選択→ 決定 押す。

③
```
短縮番号？
80■
```
短縮番号を入力→ 決定 押す。

④
```
個人可変短縮
短縮番号：80
未登録
```
決定 押す。

⑤
```
1 登録
2 編集
3 消去
```
「1登録」選択→ 決定 押す。

⑥
```
発信種別？
特番発信
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信
4 PB送出用
```
いずれか選択→ 決定 押す。
(例)「1 特番発信」選択

⑦
```
相手番号？
00249441221■
```
相手番号を入力→ 決定 押す。
(例) 発信特番 0
相手番号 0249441221

⑧
```
個人可変短縮
短縮番号：80
特番発信
00249441221
```
内容を確認する。

内容OKで続けて登録なら→ 決定 押す。 → 操作②に戻るので続けて登録。

内容OKで登録終了なら→ 決定 押す。 → 操作②に戻るので→ 終了 押す。
待受画面に変わります。

内容修正なら→ 戻る 押す。 → 戻る 代理応答 押す毎に1画ずつさかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

個人短縮ダイヤルを編集する

登録モードから

① 1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー
「1短縮ダイヤル」を選択→ 決定 押す。

② 1 短縮ボタン発信
2 特番発信
「1短縮ボタン発信」を選択→ 決定 押す。

③ 短縮番号？
80■
短縮番号を入力→ 決定 押す。

④ 個人可変短縮
短縮番号：80
特番発信
00249441221
決定 押す。

⑤ 1 登録
2 編集
3 消去
「2 編集」選択→ 決定 押す。

⑥ 個人可変短縮
短縮番号：80
1 特番発信
2 00249441221
「1 特番発信」選択→ 決定 押す。

・相手番号を編集するときは電話番号を選択し、決定 押して操作⑨に進む。

⑦ 発信種別？
特番発信
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信
4 PB送出用
目的の種別を選択→ 決定 押す。
(例)「2 外線発信」

⑧ 個人可変短縮
短縮番号：80
1 外線発信
2 00249441221
「2 00249441221」を選択→ 決定 押す。

⑨ 相手番号？
00249441221
0249441359■
相手番号を修正して→ 決定 押す。
(例)0249441359

「外線発信」を選択の場合、「相手番号」には発信特番を指定しないでください。

⑩ 個人可変短縮
短縮番号：80
外線発信
0249441359
内容を確認する。

内容OKで 続けて編集なら→ 決定 押す。 ➡ 操作②に戻るので続けて編集。

内容OKで 編集終了なら→ 決定 押す。 ➡ 操作②に戻るので→ 終了 押す。 待受画面に変わります。

内容修正なら→ 戻る 押す。 ➡ 戻る 押す毎に1画ずつさかのぼります。 目的の画面を表示させて修正する。

グループ短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する"システム短縮ダイヤル"と各内線が独自に使用できる"個人可変短縮ダイヤル"と、グループ内の内線で共通に使用できる"グループ可変短縮ダイヤル"があります。

操作する電話機について
電話機によってグループ短縮ダイヤルの登録・編集ができるものと、できないものがあります。販売店に確認してください。

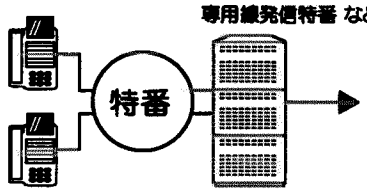
短縮番号について
「システム短縮／可変短縮ダイヤル」(P. 15)を参照して、短縮番号がどう設定されているかを販売店に確認してください。

発信種別を確認してください

システムが下記のどの発信種別になっているかを販売店に確認してください。

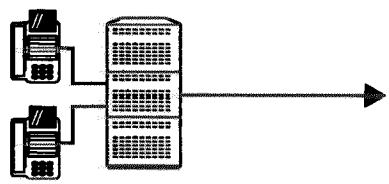
かけるときに特番が必要

●特番発信 〔例〕外線発信特番
LCR発信特番
専用線発信特番 など



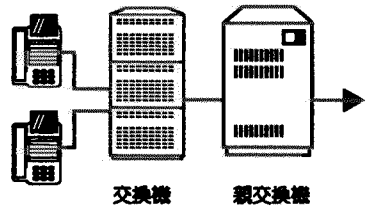
外線に直接かけられる

●外線発信



親交換機を介してかける

●親PBX発信



① 登録モードから

```
1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー
```

「1短縮ダイヤル」を選択→ (決定) 押す。

②

```
1 短縮ボタン発信
2 特番発信
```

「1短縮ボタン発信」を選択→ (決定) 押す。

③

```
短縮番号？
00■
```

短縮番号を入力→ (決定) 押す。

④

```
グループ可変短縮
短縮番号：00
未登録
```

(決定) 押す。

⑤

```
1 登録
2 編集
3 消去
```

「1登録」選択→ (決定) 押す。

⑥

```
発信種別？
特番発信
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX 発信
4 PB送出用
```

いずれか選択→ (決定) 押す。
(例)「1 特番発信」選択

⑦

```
相手番号？
00249441221■
```

相手番号を入力→ (決定) 押す。
(例) 発信特番 0
相手番号 0249441221

⑧

```
グループ可変短縮
短縮番号：00
特番発信
00249441221
```

内容を確認する。

内容OKで
続けて登録なら→ (決定) 押す。 ➡ 操作②に戻るので続けて登録。

内容OKで
登録終了なら→ (決定) 押す。 ➡ 操作②に戻るので→ (終了) 押す。
待受画面に変わります。

内容修正なら→ (戻る) 押す。 ➡ (戻る) 押す毎に1画ずつさかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

グループ短縮ダイヤルを編集する

待受モードから

① 1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー
「1短縮ダイヤル」を選択→ 決定 押す。

② 1 短縮ボタン発信
2 特番発信
「1短縮ボタン発信」を選択→ 決定 押す。

③ 短縮番号？
00■
短縮番号を入力→ 決定 押す。

④ グループ可変短縮
短縮番号：00
特番発信
00249441221
決定 押す。

⑤ 1 登録
2 編集
3 消去
「2 編集」選択→ 決定 押す。

⑥ グループ可変短縮
短縮番号：00
1 特番発信
2 00249441221
「1 特番発信」選択→ 決定 押す。

・相手番号を編集するときは電話番号を選択し、
発信 押して操作⑨に進む。

⑦ 発信種別？
特番発信
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信
4 PB送出用
目的の種別を選択→ 決定 押す。
(例)「2 外線発信」

⑧ グループ可変短縮
短縮番号：00
1 外線発信
2 00249441221
「2 00249441221」を選択→ 決定 押す。

⑨ 相手番号？
00249441221
0249441359■
相手番号を修正して→ 決定 押す。
(例) 0 249441359

! 「外線発信」を選択の場合、「相手番号」には発信特番を指定しないでください。

⑩ グループ可変短縮
短縮番号：00
外線発信
0249441359
内容を確認する。

内容OKで 続けて編集なら→ 決定 押す。 ➡ 操作②に戻るので続けて編集。

内容OKで 編集終了なら→ 決定 押す。 ➡ 操作②に戻るので→ 終了 押す。 待受画面に変わります。

内容修正なら→ 戻る 押す。 ➡ 戻る 押す毎に1画ずつさかのぼります。 目的の画面を表示させて修正する。

システム短縮ダイヤルを確認する

システム短縮ダイヤルの内容を確認できます。

① 1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー

登録モードから
「1短縮ダイヤル」を選択→ 決定 押す。

② 1 短縮ボタン発信
2 特番発信

「1短縮ボタン発信」を選択→ 決定 押す。

③ 短縮番号？
00■

短縮番号を入力→ 決定 押す。

④ システム短縮
短縮番号：00
特番発信
00249441221
田中
ﾀﾅｶ

内容を確認する。

続けて確認なら→ 戻る 代表応答 押す。 ➡ 操作③に戻るので続けて確認。

確認終了なら→ 終了 ◇ 押す。 ➡ 待受画面に変わります。

支店番号システム短縮ダイヤルを確認する

① 1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー

登録モードから
「1短縮ダイヤル」を選択→ 決定 押す。

② 1 短縮ボタン発信
2 特番発信

「2特番発信」を選択→ 決定 押す。

③ 特番＋短縮番号？
7123456■

短縮発信特番＋支店番号を入力→ 決定 押す。

(例) 短縮発信特番 7
支店番号 123456

④ 店番短縮
短縮コード：7123456
00249441359

内容を確認する。

続けて確認なら→ 戻る 代表応答 押す。 ➡ 操作③に戻るので続けて確認。

確認終了なら→ 終了 ◇ 押す。 ➡ 待受画面に変わります。

機能ボタンを登録する

電話機またはDSS装置のフリーファンクションボタンに下記の機能ボタンを登録できます。

● オートダイヤル ● 外線ワンタッチ ● 内線ワンタッチ ● 自己保留 ● 転送完了 ● DISC
● キャンセル ● セーブダイヤル ● メッセージウェイト ● 他グループピックアップ

その他の機能ボタンについて

上記の10種類の機能ボタンは各電話機から登録できるものですが、これ以外にも機能ボタンの種類(P.54)があり、これについては販売店により設定されます。このボタンについては各電話機からは確認だけすることができます。

① 登録モードから

```
1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー
```

「2 ボタン」を選択→ (決定) 押す。

②

```
登録/消去するボタン
を押してください
```

③ 電話機またはDSS装置の空いている
フリーファンクションボタンを押す。

(例) ボタン1

④

```
ボタン番号：01
未登録
```

(決定) 押す。

⑤

```
1登録/編集
2消去
```

「1 登録/編集」を選択→ (決定) 押す。

⑥

```
ボタン種別？
1オートダイヤル
2外線ワンタッチ
3内線ワンタッチ
4自己保留          >
```

目的のボタン名を選択→ (決定) 押す。

```
ボタン種別？
1転送完了
2DISC
3キャンセル
4セーブダイヤル    <>
```

```
ボタン種別？
1メッセージウェイト
2他ｸﾞﾙｰﾌﾟﾋﾟｯｸｱｯﾌﾟ
                   <
```

(▶) で次画面を、
(◀) で前画面を
表示します。

● 目的のボタン選択後の表示内容はP.53を参照してください。

- オートダイヤル
- 外線ワンタッチ
- 内線ワンタッチ
- 自己保留
- 転送完了
- DISC
- キャンセル
- セーブダイヤル
- メッセージウェイト
- 他ｸﾞﾙｰﾌﾟﾋﾟｯｸｱｯﾌﾟ

オートダイヤル

① 相手番号？
123456■

相手番号を入力→ (決定) 押す。
(例) 123456

相手番号が外線発信等の場合は、特番を含めて登録してください。

② ボタン番号：01
オートダイヤル
123456

(決定) 押すとボタンが登録されて、P.52の操作②に戻ります。

・入力し直すときは (戻る 代理応答) 押す。

外線ワンタッチ

① 短縮番号？
*01■

短縮番号を入力→ (決定) 押す。
(例) *01

② ボタン番号：01
外線ワンタッチ
*01

(決定) 押すとボタンが登録されて、P.52の操作②に戻ります。

・入力し直すときは (戻る 代理応答) 押す。

内線ワンタッチ

① 内線番号？
2001■

内線番号を入力→ (決定) 押す。
(例) 2001

② ボタン番号：01
内線ワンタッチ
2001

(決定) 押すとボタンが登録されて、P.52の操作②に戻ります。

・入力し直すときは (戻る 代理応答) 押す。

自己保留

① ボタン番号：01
自己保留

(決定) 押すとボタンが登録されて、P.52の操作②に戻ります。

転送完了

① ボタン番号：01
転送完了

(決定) 押すとボタンが登録されて、P.52の操作②に戻ります。

DISC

① ボタン番号：01
DISC

(決定) 押すとボタンが登録されて、P.52の操作②に戻ります。

キャンセル

① ボタン番号：01
キャンセル

(決定) 押すとボタンが登録されて、P.52の操作②に戻ります。

セーブダイヤル

① ボタン番号：01
セーブダイヤル

(決定) 押すとボタンが登録されて、P.52の操作②に戻ります。

メッセージウェイト

① ボタン番号：01
メッセージウェイト

(決定) 押すとボタンが登録されて、P.52の操作②に戻ります。

他グループピックアップ

① グループ番号：01
255■

グループ番号を入力→ (決定) 押す。
(例) 255

② ボタン番号：01
他ｸﾞﾙｰﾌﾟﾋﾟｯｸｱｯﾌﾟ
グループ番号：255

(決定) 押すとボタンが登録されて、P.52の操作②に戻ります。

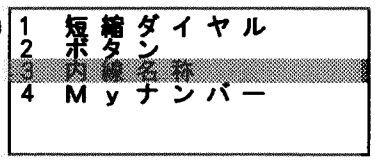
・入力し直すときは (戻る 代理応答) 押す。

販売店の設定による登録機能ボタン一覧

販売店によって設定されている機能ボタンの内容は下記のように表示されます(これらは一例です)。

ボタン番号：01 ボストライン 収容位置：01200	ボタン番号：01 バーチャル発信	ボタン番号：01 バーチャル着信	ボタン番号：01 他テナントバーチャル テナント番号：012
ボタン番号：01 ボ共保留番号：010	ボタン番号：01 ボ仮想ブ番号：20000 サ：01	ボタン番号：01 ボ仮想内番号：54321 サブ：01	ボタン番号：01 ボ出付加情報：01
ボタン番号：01 マイク	ボタン番号：01 ボルート中号：002	ボタン番号：01 ボPB送出 123456789#	ボタン番号：01 ボ出種別線表示 内線コード：2222
ボタン番号：01 ボ社員BOX番号：2000 BOX(暗証なし)	ボタン番号：01 ボ社員BOX番号：2000 BOX(暗証あり)	ボタン番号：01 ボ着信拒否	ボタン番号：01 メッセージウェイティング
ボタン番号：01 ボターンドン切替番号：001 モテナ	ボタン番号：01 ボ番号変換ブ番号：000 タ号ルグ	ボタン番号：01 ボダイレクト番号変換 タイレドープ番号：000 グルー	ボタン番号：01 ボテナント統合番号：000 テナン
ボタン番号：01 VIP呼出	ボタン番号：01 ボオートリライ	ボタン番号：01 ボモニタ着信割込	ボタン番号：01 ボモグ着信切替番号：01 ターンドールー
ボタン番号：01 ボ受話器外し表示	ボタン番号：01 ボハンドウ送出 ナラ番号一	ボタン番号：01 ボダイレクト毎モード切替 タイレドープ番号：01 グルー	ボタン番号：01 ボダイレクト毎モード切替 タイナーナントー番号：000 テンレンドー
ボタン番号：01 ボ呼出停止内線表示	ボタン番号：01 ボモ呼出停止内線表示 タンニルグ	ボタン番号：01 ボブリセット タンッ	ボタン番号：01 ボ録音
ボタン番号：01 ボコメント	ボタン番号：01 ボ終了	ボタン番号：01 ボ取消	ボタン番号：01 ボボーズ タンン
ボタン番号：01 ボメッセージ転送	ボタン番号：01 ボ出種別表示：1 タン登録	ボタン番号：01 ボ指令グループ番号：01 タルー	ボタン番号：01 ボ被内線番号：2000 タ指令番

内線名称を登録する

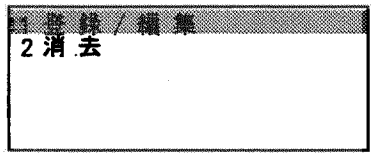
①


登録モードから
「3 内線名称」を選択→
決定 押す。

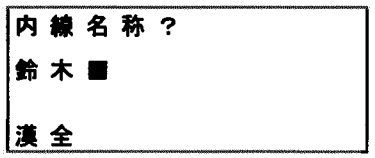
②

決定 押す。

・内線名称が登録されている場合は、その旨が表示されます。

③


「1 登録/編集」を選択→
決定 押す。

④


名称を入力→
決定 押す。

⑤

・内線名称が登録されます。

内容OKなら→ 決定 押す。 ➡ 操作①に戻るので→ 終了 ◇ 押す。
待機画面に変わります。

内容修正なら→ 戻る 押す。 ➡ 戻る 押す毎に1画ずつ
さかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

Myナンバーを登録する

席移動の際、現在お使いの電話機と内線番号を移動先でそのまま使うことができます。更に移動先で使用している、グループボタン配置、ボタン着信音、コールピックアップグループの機能を電話機にコピーすることができます。

● Myナンバーの登録は、下記の1、2、3の順(移動前と移動後)に行います。

1 Myナンバーを登録する【移動前に登録します】

移動のために、自分の内線番号を登録します。

①
```
1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー
```
登録モードから「4 Myナンバー」を選択→ 決定 押す。

②
```
1 Myナンバー登録
2 席移動開始
3 Myナンバー表示
4 グループデータコピー
```
「1 Myナンバー登録」を選択→ 決定 押す。

③
```
Myナンバー登録中
お待ちください
```
⇩
```
Myナンバー登録
しました
```
登録完了後→ 決定 押す。

・画面は操作①に戻ります。戻る 押すと待機画面になります。

2 席移動を開始する【1項の、「Myナンバーを登録する」操作をし、電話機を移動した後に行います】

移動先で、自分の内線番号を登録します。

①
```
1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー
```
登録モードから「4 Myナンバー」を選択→ 決定 押す。

②
```
1 Myナンバー登録
2 席移動開始
3 Myナンバー表示
4 グループデータコピー
```
「2 席移動開始」を選択→ 決定 押す。

③
```
Myナンバー取得中
お待ちください
```
⇩
```
内線番号          3000
05月16日（月）   13:22

着信音量          ■■■□□
```
登録が完了すると自分の内線番号が表示されます。

3 グループデータをコピーする【2項の、「席移動を開始する」操作をした後に行います】

移動先グループで使用されている、電話機のグループボタン配置、ボタン着信音、ピックアップグループが登録されます。

①
```
1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー
```
登録モードから「4 Myナンバー」を選択→ 決定 押す。

②
```
1 Myナンバー登録
2 席移動開始
3 Myナンバー表示
4 グループデータコピー
```
「4 グループデータコピー」を選択→ 決定 押す。

③
```
内線番号？
4110■
```
内線番号を入力→ 決定 押す。

④
```
1 グループデータコピー
2 キャンセル
```
「1 グループデータコピー」を選択→ 決定 押す。
⇩
```
内線番号          3000
05月16日（月）   13:22

着信音量          ■■■□□
```
・登録後は、元のデータに戻せません。

第6章

特定電話機

この章は、特定電話機からの登録内容についての説明です。

- この章の内容操作は全て受話器を置いたままでの操作になります。
- この章の内容を操作している場合に、説明と違う表示になったきは、第8章「こんなメッセージが出たら」(P. 84)をご覧ください。

特定電話機からの登録操作

特定電話機から、通常の電話機能以外に下記の項目について登録することができます。

登録項目について

- 登録するためのモードは、登録モードから入るものと、特定モードにしてから入る2通りがあります。
- 特定電話機としての設定は販売店が行います。特定電話機を確認するとともに、設定台数をお確かめください。

	項目	モード	内容
1	システム短縮ダイヤルの登録 ※	登録モード	全内線が共通で使用するシステム短縮ダイヤルの登録です。
2	支店番号システム短縮ダイヤルの登録 ※	登録モード	短縮番号の代わりに、支店番号でシステム短縮ダイヤル発信できる機能を設定されている場合の登録です。
3	日付設定	特定モード	画面に表示されるカレンダーの、年、月、日、曜日の設定です。
4	時刻設定	特定モード	画面に表示される時刻の設定です。
5	内線名称登録 ※	特定モード	内線発信時、発信側の内線番号に換わって名称で表示するための登録です。
6	席の入替	特定モード	複数内線の席の入れ替えの登録です。
7	発信停止	特定モード	内線の発信停止登録、解除、確認です。

※登録したデータは、定時ダンプによって交換機に記憶されます。

登録モードにする

上記項目を操作するために、次のモードにしてください。

待機画面

①

```
内線番号          3000
05月16日(月)     13:22

着信音量      ■■■□□□
```

待機画面で (決定) 押す。

トップメニュー

②

```
1 電話帳
2 履歴
3 電話機設定1
4 電話機設定2
5 ロック
6 アラーム
```

③

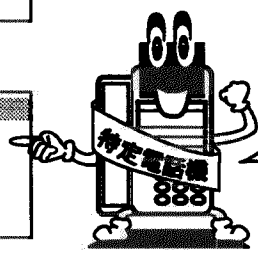
```
1 電話帳
2 履歴
3 電話機設定1
4 電話機設定2
5 ロック
6 アラーム
```

「4 電話機設定2」を選択→ (決定) 押す。

登録モード

④

```
1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー
```



P.59～61の内容は、この画面にしてからの操作になります。

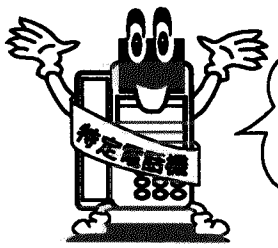
登録モード画面から

(#) を長押し(3秒以上)する。

特定モード

⑤

```
1 日付
2 時刻
3 内線名称
4 席入替
5 発信停止登録解除
6 発信停止表示
```



P.62～64の内容は、この画面にしてからの操作になります。

システム短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する"システム短縮ダイヤル"と各内線が独自に使用できる"個人可変短縮ダイヤル"と、グループ内の内線で共通に使用できる"グループ可変短縮ダイヤル"があります。

短縮番号について

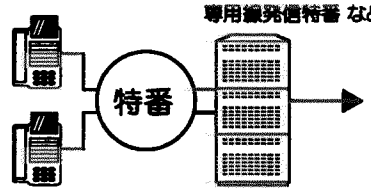
「システム短縮／可変短縮ダイヤル」(P. 15)を参照して、短縮番号がどう設定されているかを販売店に確認してください。

発信種別を確認してください

システムが下記のどの発信種別になっているかを販売店に確認してください。

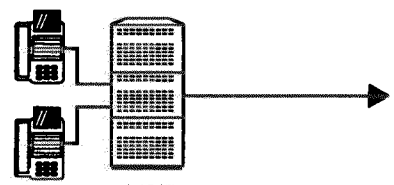
かけるときに特番が必要

●特番発信 〔例〕外線発信特番
LCR発信特番
専用線発信特番 など



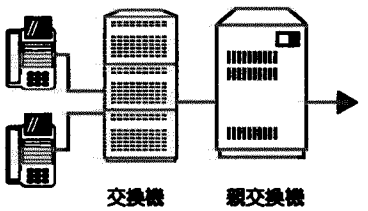
外線に直接かけられる

●外線発信



親交換機を介してかける

●親PBX発信



登録モードから

① 1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー

「1短縮ダイヤル」を選択→ (決定) 押す。

② 1 短縮ボタン発信
2 特番発信

「1短縮ボタン発信」を選択→ (決定) 押す。

③ 短縮番号？
00■

短縮番号を入力→ (決定) 押す。

④ システム短縮
短縮番号：00
未登録

(決定) 押す。

⑤ 1 登録
2 編集
3 消去

「1登録」選択→ (決定) 押す。

⑥ 発信種別？
特番発信
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX 発信
4 PB送出用

いずれか選択→ (決定) 押す。
(例)「1 特番発信」選択

⑦ 相手番号？
00249441221■

相手番号を入力→ (決定) 押す。
(例) 発信特番 0
相手番号 0249441221

⑧ 名称？
田中■
漢全

名称を入力→ (決定) 押す。
文字入力 (P.74)

⑨ 読み仮名？
ﾀﾅｶ■
ｶﾅ 半

読み仮名を入力→ (決定) 押す。

⑩ システム短縮
短縮番号：00
特番発信
00249441221
田中
ﾀﾅｶ

内容を確認する。

内容OKで続けて登録なら→ (決定) 押す。 ➡ 操作②に戻るので続けて登録。

内容OKで登録終了なら→ (決定) 押す。 ➡ 操作②に戻るので→ (終了) 押す。待受画面に変わります。

内容修正なら→ (戻る 代理発信) 押す。 ➡ (戻る 代理発信) 押す毎に1画ずつさかのぼります。目的の画面を表示させて修正する。

システム短縮ダイヤルを編集する

①
```
1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー
```
登録モードから
「1短縮ダイヤル」を選択→ 決定 押す。

②
```
1 短縮ボタン発信
2 特番発信
```
「1短縮ボタン発信」を選択→ 決定 押す。

③
```
短縮番号？
00■
```
短縮番号を入力→ 決定 押す。

④
```
システム短縮
短縮番号：00
特番発信
00249441221
田中
ﾀﾅｶ
```
決定 押す。

⑤
```
1 登録
2 編集
3 消去
```
「2 編集」選択→ 決定 押す。

⑥
```
システム短縮
短縮番号：00
1 特番発信
2 00249441221
3 田中
4 ﾀﾅｶ
```
編集項目を選択→ 決定 押す。
(例)「1 特番発信」

```
発信種別？
特番発信
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信
4 PB送出用
```
目的の種別を選択→ 決定 押す。
(例)「2 外線発信」

⑧
```
システム短縮
短縮番号：00
1 外線発信
2 00249441221
3 田中
4 ﾀﾅｶ
```
「2 00249441221」を選択→ 決定 押す。

⑨
```
相手番号？
00249441221

0249441359■
```
相手番号を修正して→ 決定 押す。
(例) 0249441359

「外線発信」を選択の場合、「相手番号」には発信特番を指定しないでください。

⑩
```
システム短縮
短縮番号：00
1 外線発信
2 0249441359
3 田中
4 ﾀﾅｶ
```
「3 田中」を選択→ 決定 押す。

⑪
```
名称？
田中
佐藤■

漢全
```
名称を修正→ 決定 押す。
(例) 佐藤
文字入力 (P.74)

⑫
```
システム短縮
短縮番号：00
1 外線発信
2 0249441359
3 佐藤
4 ﾀﾅｶ
```
「4 ﾀﾅｶ」を選択→ 決定 押す。

⑬
```
読み仮名？
ﾀﾅｶ
ｻﾄｳ■

ｶﾅ 半
```
読み仮名を修正→ 決定 押す。

⑭
```
システム短縮
短縮番号：00
外線発信
0249441359
佐藤
ｻﾄｳ
```
内容を確認する。

内容OKで 続けて編集なら→ 決定 押す。 → 操作②に戻るので続けて編集。

内容OKで 編集終了なら→ 決定 押す。 → 操作②に戻るので→ 終了 押す。 待受画面に変わります。

内容修正なら→ 戻る 押す。 → 戻る 押す毎に1画ずつさかのぼります。 目的の画面を表示させて修正する。

支店番号システム短縮ダイヤルを登録する

① 1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー

登録モードから
「1短縮ダイヤル」を選択→ 決定 押す。

② 1 短縮ボタン発信
2 特番発信

「2 特番発信」を選択→ 決定 押す。

③ 特番＋短縮番号？
7123456■

短縮発信特番＋支店番号を入力→ 決定 押す。

(例) 短縮発信特番 7
支店番号 123456

④ 店番短縮
短縮コード：7123456
未登録

決定 押す。

⑤ 1 登録
2 編集
3 消去

「1 登録」を選択→ 決定 押す。

⑥ 相手番号？
00249441221■

相手番号を入力→ 決定 押す。

(例) 発信特番 0
相手番号 0249441221

⑦ 店番短縮
短縮コード：7123456
00249441221

内容を確認する。

内容OKで続けて登録なら→ 決定 押す。 ➡ 操作②に戻るので続けて登録。

内容OKで登録終了なら→ 決定 押す。 ➡ 操作②に戻るので→ 終了 押す。
待受画面に変わります。

内容修正なら→ 戻る 押す。 ➡ 戻る 押す毎に1画ずつさかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

支店番号システム短縮ダイヤルを編集する

① 1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー

登録モードから
「1短縮ダイヤル」を選択→ 決定 押す。

② 1 短縮ボタン発信
2 特番発信

「2特番発信」を選択→ 決定 押す。

③ 特番＋短縮番号？
7123456■

短縮発信特番＋支店番号を入力→ 決定 押す。

(例) 短縮発信特番 7
支店番号 123456

④ 店番短縮
短縮コード：7123456
00249441221

決定 押す。

⑤ 1 登録
2 編集
3 消去

「2編集」選択→ 決定 押す。

⑥ 店番短縮
短縮コード：7123456
1 00249441221

「1 00249441221」を選択→ 決定 押す。

⑦ 相手番号？
00249441221
00249441254■

相手番号を修正→ 決定 押す。

(例) 発信特番 0
相手番号 0249441254

⑧ 店番短縮
短縮コード：7123456
00249441254

内容を確認する。

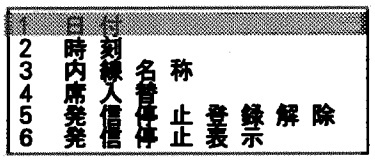
内容OKで続けて編集なら→ 決定 押す。 ➡ 操作②に戻るので続けて編集。

内容OKで編集終了なら→ 決定 押す。 ➡ 操作②に戻るので→ 終了 押す。
待受画面に変わります。

内容修正なら→ 戻る 押す。 ➡ 戻る 押す毎に1画ずつさかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

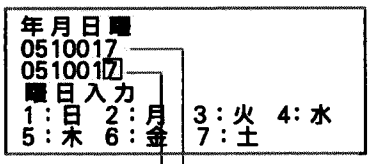
日付を設定する

①



特定モードから
「1 日付」選択→ 決定 押す。

②

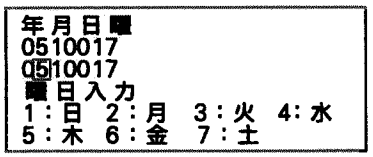


現在設定されてい日付が表示されます。
設定エリアに日付を入力する。

確認エリア：設定されている日付です。
設定エリア：日付を設定するエリアです。

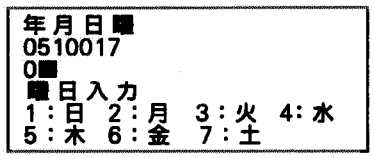
ヒント 確認エリアと設定エリアは同日付を表示します。

③



◀ 押してカーソルを変更箇所へ当てる。

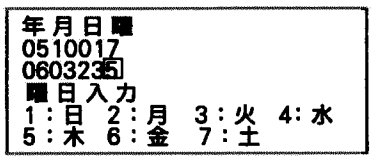
④



・クリア 不在 を6回押して消す。

・クリア 不在 を押すと１桁消えます。
・クリア 不在 長押し(３秒以上)で全桁消えます。

⑤

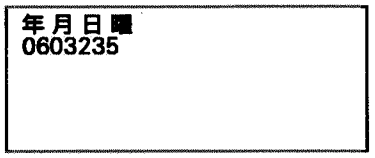


日付を入力する。
決定 押す。

(例) 2006年3月23日(木曜日)

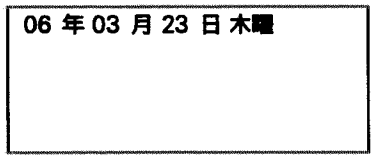
年	月	日	曜
(2桁)	(2桁)	(2桁)	(1桁)
06	03	23	5

⑥



決定 押す。

⑦



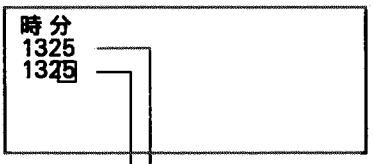
終了 ◇ を押すと待ち受け画面に戻ります。

時刻を設定する

①

特定モードから
「2 時刻」選択→ 決定 押す。

②



現在設定されてい時刻が表示されますので、設定エリアに時刻を入力する。

確認エリア：設定されている時刻です。
設定エリア：時刻を設定するエリアです。

ヒント 確認エリアと設定エリアは同時刻を表示します。

③

◀ 押してカーソルを変更箇所へ当てる。

④

・クリア 不在 を3回押して消す。

・クリア 不在 を押すと１桁消えます。
・クリア 不在 長押し(３秒以上)で全桁消えます。

⑤

時刻を入力して
決定 押す。

(例) 14時55分

時	分
(2桁)	(2桁)
14	55

⑥

決定 押す。

⑦

終了 ◇ を押すと待ち受け画面に戻ります。

内線名称を登録する

発信者側の番号に代って名称を通知できます。

① 1 日付
2 時刻
3 内線名称
4 席入替
5 発信停止登録解除
6 発信停止表示

特定モードから
「3 内線名称」を選択→ (決定) 押す。

② 内線番号？
2000■

内線番号を入力→ (決定) 押す。

③ 内線番号：2000

(決定) 押す。

④ 1 登録/編集
2 消去

「1 登録/編集」を選択→ (決定) 押す。

⑤ 内線名称？
鈴木■

漢全

名称を入力→ (決定) 押す。

⑥ 内線番号：2000
鈴木

内容を確認する。

内容OKで続けて登録なら→ (決定) 押す。 ➡ 操作②に戻るので続けて登録。

内容OKで登録終了なら→ (決定) 押す。 ➡ 操作②に戻るので→ (終了) 押す。
待受画面に変わります。

内容修正なら→ (戻る 代瞬発) 押す。 ➡ (戻る 代瞬発) 押す毎に1画ずつさかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

席入替えを登録する

席替えしても今まで使用していた内線番号が使えます。

(席替え例) A、B、Cさんを下記のように席替えする。

座席1	Aさん(内線：2001)	座席1	Cさん(内線：2003)
座席2	Bさん(内線：2002)	座席2	Aさん(内線：2001)
座席3	Cさん(内線：2003)	座席3	Bさん(内線：2002)

① 1 日付
2 時刻
3 内線名称
4 席入替
5 発信停止登録解除
6 発信停止表示

特定モードから
「4 席入替」を選択→ (決定) 押す。

② 暗証番号？
■

暗証番号を入力→ (決定) 押す。

・暗証番号が無い場合 (決定) を押してください。

③ 入替開始内線？
2001■

「2001」を選択→ (決定) 押す。

④ 入替内線：2001
移動先内線？
2002■

「2002」を選択→ (決定) 押す。

⑤ 入替内線：2002
移動先内線？
2003■

「2003」を選択→ (決定) 押す。

⑥ 入替内線：2003
移動先内線？
2001■

「2001」を選択→ (決定) 押す。

⑦ 席替確認
1 実行
2 キャンセル

「1 実行」を選択→ (決定) 押す。

⑧ 席替完了

(終了) 押す。
待受画面に変わります。

特定電話機からの 登録操作（つづき）

発信停止を登録する

内線電話機からの発信を停止できます。

① 1 日付 / 2 時刻 / 3 内線名称 / 4 席人番 / 5 発信停止登録解除 / 6 発信停止表示
指定モードから「5発信停止登録解除」を選択→ 決定 押す。

② 内線番号？ 2000■
内線番号を入力→ 決定 押す。
(例) 2000

③ 発信停止 / 内線番号：2000 / 未登録
決定 押す。

④ 1 登録 / 2 解除
「1 登録」を選択→ 決定 押す。

⑤ 発信停止 / 内線番号 / 登録
内容を確認する。

内容OKで続けて登録なら→ 決定 押す。 ➡ 操作②に戻るので続けて登録。

内容OKで登録終了なら→ 決定 押す。 ➡ 操作②に戻るので→ 終了 押す。
待受画面に変わります。

発信停止を解除する

内線電話機の発信停止を解除できます。

① 1 日付 / 2 時刻 / 3 内線名称 / 4 席人番 / 5 発信停止登録解除 / 6 発信停止表示
指定モードから「5発信停止登録解除」を選択→ 決定 押す。

② 内線番号？ 2000■
内線番号を入力→ 決定 押す。
(例) 2000

③ 発信停止 / 内線番号：2000 / 登録中
決定 押す。

④ 1 登録 / 2 解除
「2 解除」を選択→ 決定 押す。

⑤ 発信停止 / 内線番号：2000 / 解除
内容を確認する。

内容修正なら→ 戻る 押す。 ➡ 戻る 押す毎に1画面ずつさかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

発信停止の登録内線を確認する

発信停止の登録をしている内線を確認できます。

① 1 日付 / 2 時刻 / 3 内線名称 / 4 席人番 / 5 発信停止登録解除 / 6 発信停止表示
指定モードから「6 発信停止表示」を選択→ 決定 押す。

② 発信停止表示
2000 2001 2002
2003 2004 2005
2006 2007 2008
2009 2010 2011
2012
(これは表示例です)
・登録がある場合はこのような表示になります。
・登録がない場合は操作③の表示になります。

③ 発信停止表示 / 表示終了
終了 押す。

・待機画面に変わります。

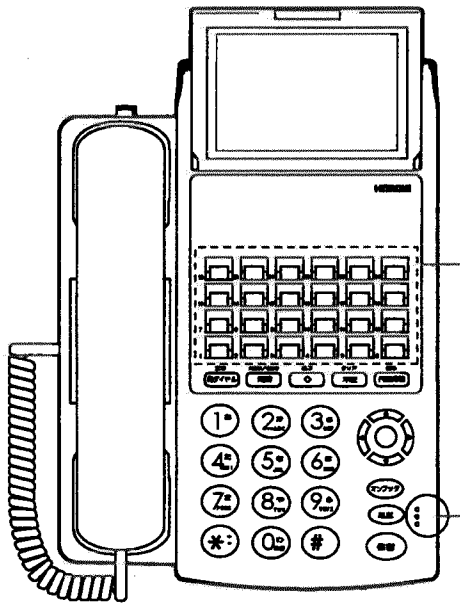
第7章

その他の電話機

この章は、ハンズフリー付電話機、停電直通用電話機の独自機能についての説明です。

ハンズフリー付電話機

この電話機は、受話器を置いたまま通話できます。



マイクボタン(1個)

マイクをON／OFFするボタンです。

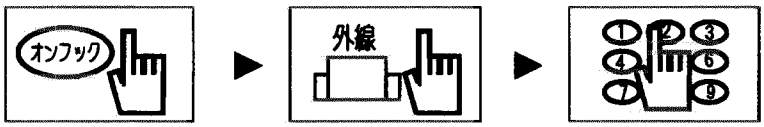
マイク

- 取付時に販売店が設定しますので位置をお確かめください。
- マイクボタンにマイクシール(添付品)を貼ってご使用ください。
- ハンズフリーで通話する場合は、あらかじめマイクボタンをON(赤点灯)にしておいてください。

- マイクとの距離は1m以内でお話しください。

外線にかける

外線発信

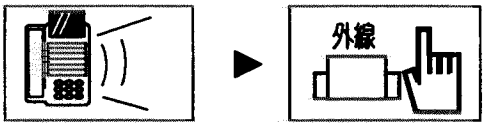


1. オンフックボタンを押す。
2. 外線ボタンを押す。
3. 相手番号を押す。

- あらかじめマイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後にマイクボタンを押してONにしてください。

外線からの電話を受ける

外線応答



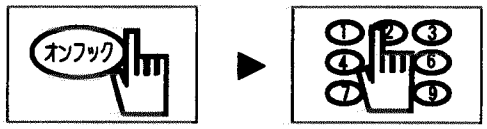
着信音が鳴る。

1. 速い赤点滅している外線ボタンを押す。

- あらかじめマイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後にマイクボタンを押してONにしてください。

内線にかける

内線発信



1. オンフックボタンを押す。
2. 相手内線番号を押す。

● あらかじめマイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後にマイクボタンを押してONにしてください。

内線からの電話を受ける

内線応答

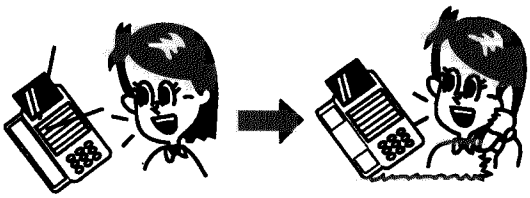
着信があるとすぐに警頭音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
2.通話する。

● あらかじめマイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後にマイクボタンを押してONにしてください。

相手にこちらの声を聞かせたくない場合

1. マイクボタンを押す。
   マイクランプが消えます。
2. 相手の声は聞こえますが、相手にはこちらの声は聞こえません。
3. 再度マイクボタンを押すと元の状態に戻ります。

ハンズフリー通話から受話器通話にする場合



1. ハンズフリー通話中に受話器を上げる。
2. ハンズフリー通話に戻す場合はオンフックボタンを押してから受話器を戻す。

ハンズフリー通話中のご注意

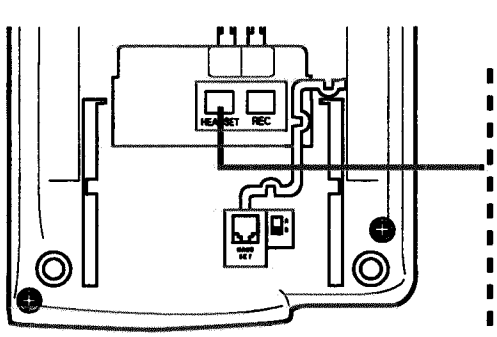
● 通話は交互に行ってください。双方が同時に通話したり、相手の話しが終わらないうちに話しかけと、声がとぎれる場合があります。
● マイクとの距離は1m以内でお話しください。
● ハウリングが発生する場合は、受話器を使って通話してください。

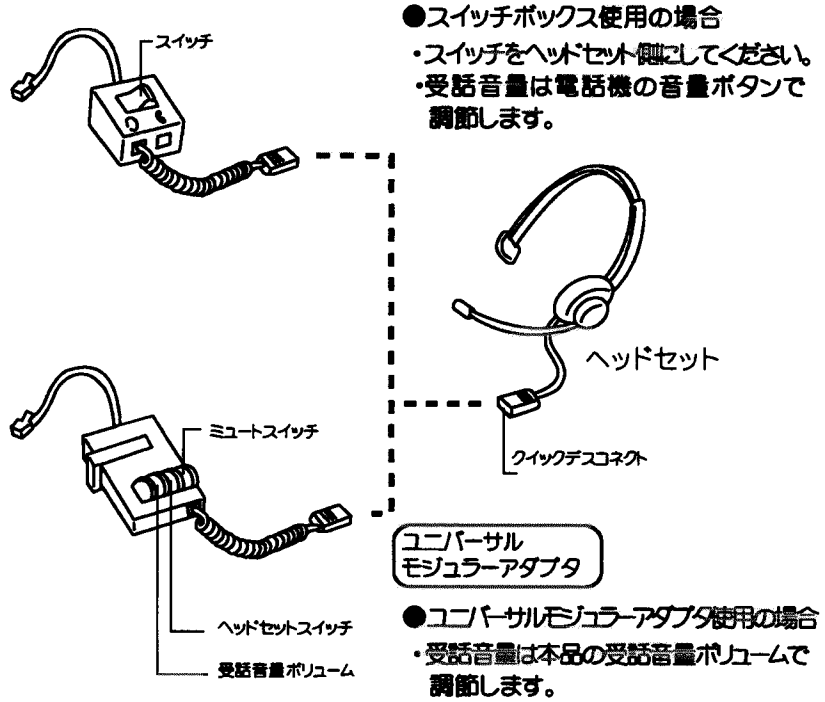
ヘッドセットで通話する

ヘットセット通話

受話器の代わりにヘットセットを使って通話できます。

ヘッドセットを接続するには電話機の改造が必要です。
販売店にご用命ください。





スイッチボックス

●スイッチボックス使用の場合

・スイッチをヘッドセット側にしてください。
・受話音量は電話機の音量ボタンで調節します。

ユニバーサル
モジュラーアダプタ

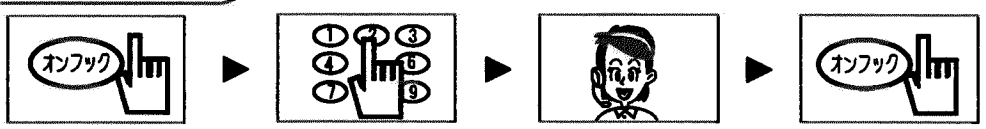
●ユニバーサルモジュラーアダプタ使用の場合

・受話音量は本品の受話音量ボリュームで調節します。

⚠警告

スイッチボックスまたはユニバーサルモジュラーアダプタのコードを誤ってMFTまたはLINEに接続しないでください。回線電圧がコードにかかって火災・感電・故障の原因となります。

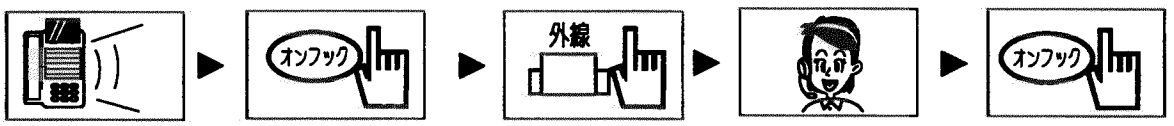
電話をかける



1. オンフックボタンを押す。
2. 相手番号を押す。
3. 通話する。
4. 通話が終ったらオンフックボタンを押す。

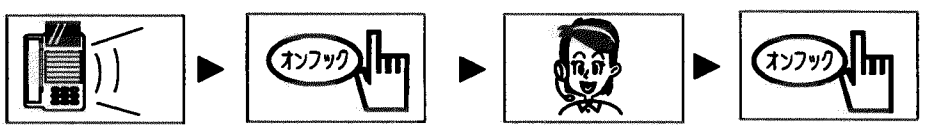
電話を受ける

■ 外線からの電話に応答する



着信音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
2. 速い赤点滅の外線ボタンを押す。
3. 通話する。
4. 通話が終ったらオンフックボタンを押す。

■ 内線からの電話に応答する

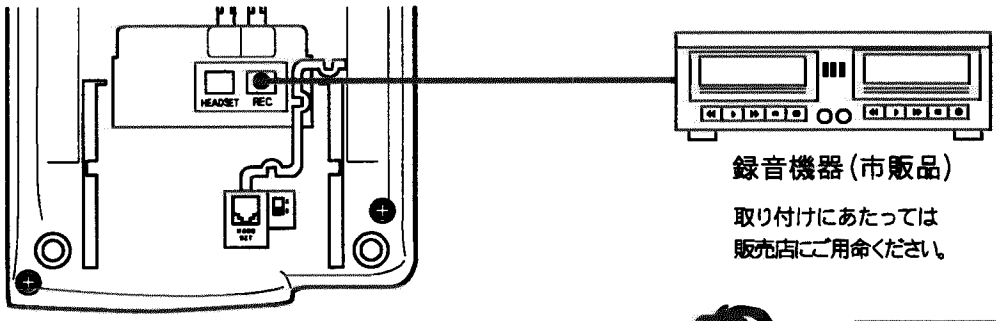


着信音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
2. 通話する。
3. 通話が終ったらオンフックボタンを押す。

通話を録音する

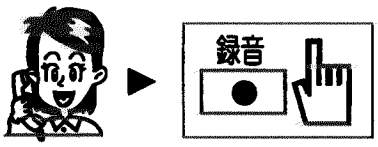
通話録音

市販の録音機器を接続して通話を録音できます。



録音機器(市販品)

取り付けにあたっては
販売店にご用命ください。



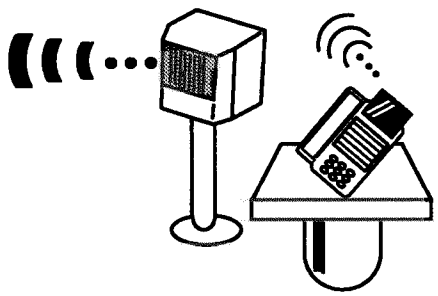
通話中に…

1. 録音機器の
録音ボタン
を押す。

高音量ベルを使う

高音量ベル

着信音の聞き取りにくい所に電話機が設置されているときは、着信音量を大きくできる高音量ベルを接続できます。

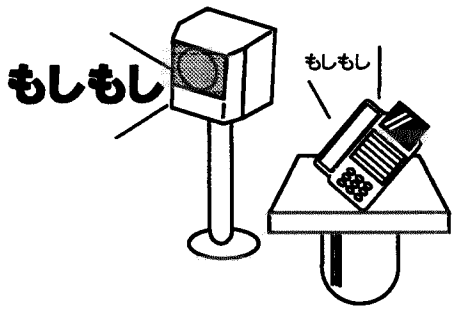


- 高音量ベルの取り付けは販売店が行います。
- 音量調節はできません。
- 音色は着信の種類に関係なく1種の音質です。

スピーカ付アンプを使う

スピーカ付アンプ

スピーカ付アンプを接続すると、電話機のスピーカモニタを大きくして聞けます。



- スピーカ付アンプの取り付けは販売店が行います。
- 音量は電話機の音量ボタンで調節できます。
- 音色は電話機そのものの音種です。

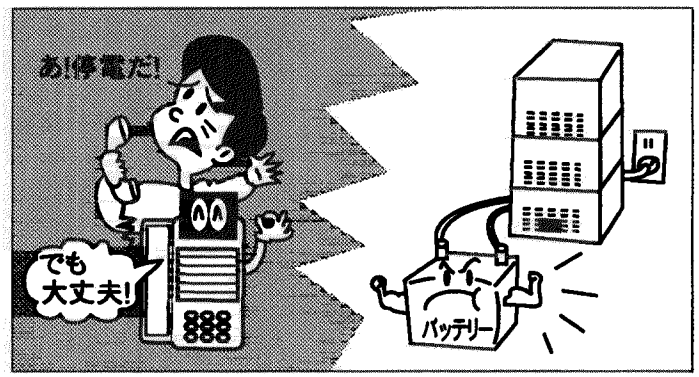
停電直通用電話機

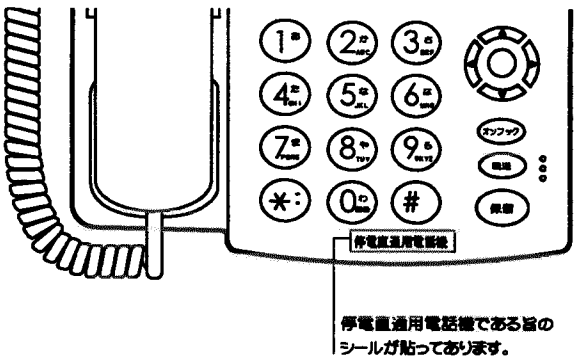
〈この電話機は"アナログ回線用"です〉

停電になると、交換機に付加されているバッテリーからの給電に切り替わるため、各電話機は普通に使えます。

その後

停電が長時間続いてバッテリーからの給電が止まると各電話機能は停止します。この場合、この電話機は自動的に外線（自局の加入者番号）と直結になり、外線への発信と着信に限って使用できます。



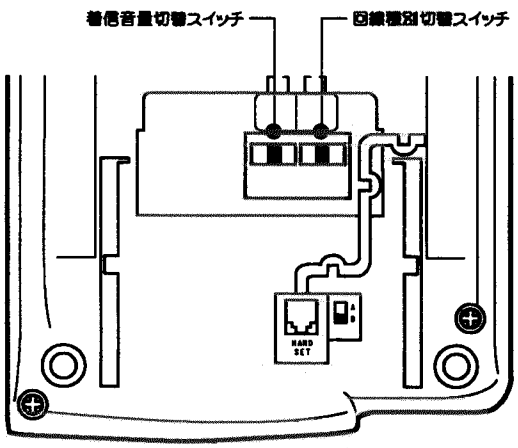


停電直通用電話機である旨のシールが貼ってあります。

- この電話機を他の回線につなぎ替えないでください。停電時に使用できなくなります。

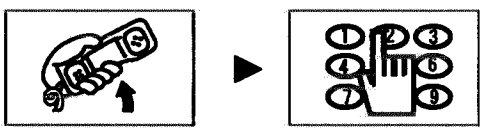
－ バッテリーからの給電停止後 －

- 機能するのはダイヤルボタンだけです。
- 着信音量調節は裏面の着信音量切替スイッチを切替えてください。
- 裏面の回線種別切替スイッチは販売店が設定していますので、設定を変えないでください。電話が使用できなくなります。



外線にかける

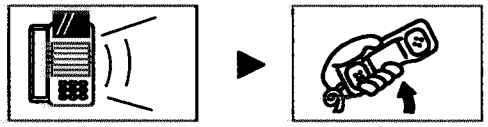
外線発信



1. 受話器を上げる。　2. 相手番号を押す。

外線からの電話を受ける

外線応答



着信音が鳴る。　1. 受話器を上げる。

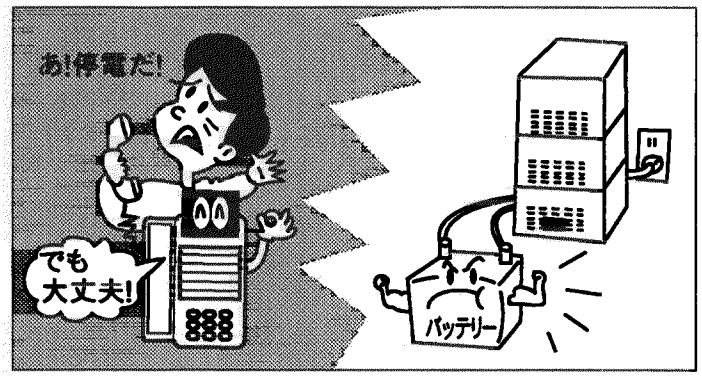
INS64停電直通用電話機

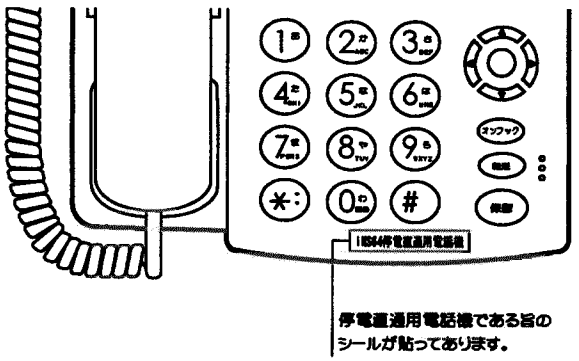
〈この電話機は"ISDN回線用"です〉

停電になると、交換機に付加されているバッテリーからの給電に切り替わるため、各電話機は普通に使えます。

その後

停電が長時間続いてバッテリーからの給電が止まると各電話機能は停止します。この場合、この電話機は自動的にISDN(INS64)回線(自局の加入者番号)と直結になり、外線への発信と着信に限って使用できます。





停電直通用電話機である旨のシールが貼ってあります。

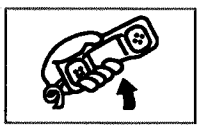
- この電話機を他の回線につなぎ替えないでください。停電時に使用できなくなります。

－ バッテリーからの給電停止後 －

- 機能するのはダイヤルボタンだけです。

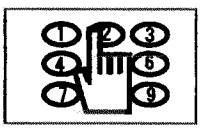
外線にかける

外線発信



1. 受話器を上げる。

▶

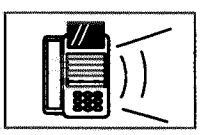


2. 相手番号を押す。

- 相手番号をダイヤル中、約4秒の間があくと、ダイヤルが終了したと見なし、その時点で発信されます。ダイヤル操作は間をあけないで行ってください。
- ダイヤルを間違えた場合は、約4秒以内に受話器を戻し、ダイヤルをし直してください。
- ダイヤルが終了してから最低4秒間は無音です。その後に呼び出し音が聞こえます。
- 通話中に停電が復旧した時点で通話は切れますが、異常ではありません。

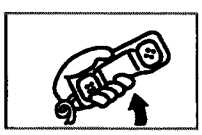
外線からの電話を受ける

外線応答



着信音が鳴る。

▶



1. 受話器を上げる。

- 着信音量は固定です。調節はできません。
- 通話中に停電が復旧した時点で通話は切れますが、異常ではありません。

MEMO

第8章

付録

この章は、参照内容や電話機の仕様などについての説明です。

文字入力

各ボタンの文字割り当て(P.75)を参照してください。

漢字/ひらがな

入力モードを「漢全」にする。 [漢全]

①
```
名 前 ?
■

漢 全
```
入力モード

②
```
さ と [5]

漢 全
```
"読み"を入力する。
(例) さとう

・入力した読みを"ひらがな"で確定するときは (決定) 押す。
・同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは [►] でカーソルを移動させてから入力する。
・入力した読みを漢字変換するときは [▲]/[▼] で候補を表示させる。

③
```
さ と う
1 佐藤
2 砂糖
3 サトウ
4 さとう
```
候補を選択して→ (決定) 押す。
(例) 1佐藤

④
```
名 前 ?
佐 藤 ■

漢 全
```
・操作②③を繰り返して文字を入力する。

濁点、半濁点の入力

(例) が

[か] 1. カーソルを合わせる。
[゛] 2. (✱:) 押して濁点、半濁点を付ける。
[が] 3. これで、「が」になりました。

・カタカナ半角の場合は濁点、半濁点も半角1文字が使われますので、通常どうりの入力になります。

スペース入力

スペースは半角だけです。全角はありません。

か → ■ 1.「か」と入力してカーソルを右に移す。
か → □ → ■ 2. 再度カーソルを右に移す。
か □■ 3. これで、半角スペースができました。
↑ 半角スペース

直接入力文字

入力モードを「漢全」以外にする。

[カ全] [英全] [数全] [カ半] [英半] [数半]

①
```
名 前 ?
■

カナ全
```
任意の文字を入力する。

②
```
名 前 ?
サ ト ウ A B C 1 2 [3]

数 半
```
・同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは [►] でカーソルを移動させてから入力する。

文字削除

■1文字削除

①
```
名 称 ?
田 中 一 [郎] A B C 1 2 3

漢 全
```
削除する文字にカーソルを合わせ→ [クリア 不在] 押す。

↓

```
名 称 ?
田 中 [一] A B C 1 2 3

漢 全
```
・1文字削除されて文字間がつまります。

■全削除

①
```
名 称 ?
田 中 一 [郎] A B C 1 2 3

漢 全
```
[クリア 不在] を長押し(3秒以上)する。

↓

```
名 称 ?
■

漢 全
```
・全文字削除されます。

各ボタンの文字割り当て

文字 [再ダイヤル] を押すと次の順に入力モードが換わります。

入力モード → [漢全] → [カ全] → [英全] → [数全] → [カ半] → [英半] → [数半] →

始めに入力モードを選択し、下表にしたがって各ボタンを必要回数押して目的の文字を入力します。

文字種 / ボタン	漢全（漢字全角）	カ全（カタカナ全角）	英全（英字全角）	数全（数字全角）	カ半（カタカナ半角）	英半（英字半角）	数半（数字半角）
	漢 あ	ア	A	1	ｱｲ	AB	12
1 あ	あいうえお	アイウエオ	―	1	ｱｲｳｴｵ	―	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ABC	2	ｶｷｸｹｺ	ABC	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	DEF	3	ｻｼｽｾｿ	DEF	3
4 た GHI	たちつてと	タチツテト	GHI	4	ﾀﾁﾂﾃﾄ	GHI	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL	5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO	6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	PQRS	7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS	7
8 や TUV	やゆよ	ヤユヨ	TUV	8	ﾔﾕﾖ	TUV	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ	9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ	9
0 わ	わをん一、。・	ワヲン一、。・	―	0	ﾜｦﾝｰ、。・		0
*	―	―	―	*			*
#	―	―	―	#			#

小文字を表示させるには

全角で文字種を表示させて、小文字のある文字種（下記）になったときに [大文字/小文字 短縮] を押す。

小文字の文字種

あいうえお　っ　やゆよ　abc　def　ghi　jkl　mno　pqrs　atuv　wxyz

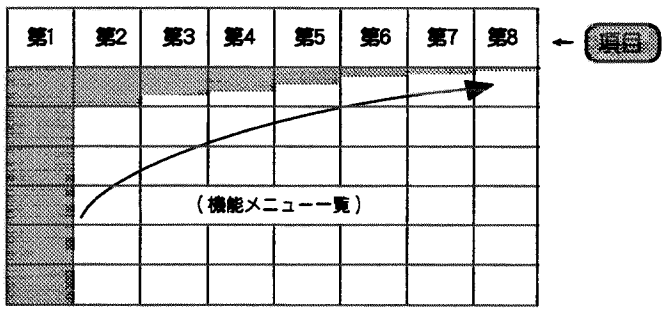
十字ボタン機能

十字ボタンの機能は右記のような内容です。

電話機の状態	カーソル機能
待機状態と通話中	◀ 電話帳検索 ▶ 発信履歴
発信履歴を利用中（着信履歴）	◀ ▶ 着信履歴（発信履歴）
メニュー画面表示中	▲ ▼ メニュー選択　◀ 前候補表示　▶ 次候補表示
文字入力中	◀ カーソル左移動 ▶ カーソル右移動
漢字変換時	▲ 末尾の候補 ▼ 先頭候補
待機状態／着信中	▲ ▼ 着信音量（▲：大きく／▼：小さく）
スピーカモニタ中	▲ ▼ スピーカ音量（▲：大きく／▼：小さく）
相手と通話中	▲ ▼ 受話音量（▲：大きく／▼：小さく）

機能メニューの表示

機能メニュー一覧(P.78)の内容を画面に表示させる操作概要です。
第1項目(トップメニュー)から順にその下の階層の項目(第2→第3・・・)を選択しています。選択していくにつれて階層が深くなっていきます。



●各画面では▲で上段、▼で下段の項目にカーソルが移動します。

<待機画面>

① 内線番号 100
04月27日(水) 15:00
着信音量 ■■■□□□
決定 押す。

この画面が表示されたときは電話機がロックされています。(ロック登録P.43)

パスワード？
パスワードを入力→
決定 押す。

第1項目 <トップメニュー画面>

② 1 電話帳
2 履歴
3 留守電話機設定1
4 留守電話機設定2
5 ロック
6 アラーム
項目選択して→
決定 押す。
(例)1電話帳

第2項目

③ 1 検索
2 登録
3 グループ
4 ダウンロード
項目選択して→
決定 押す。
(例)1検索

第3項目

④ 1 名前検索
2 メモリー番号検索
3 グループ検索
4 電話帳検索
5 読み仮名検索
項目選択して→
決定 押す。
(例)名前検索

第4項目

⑤ 名前？
■
漢 全

名前？
田中
漢 全
名前を入力→
決定 押す。
文字入力(P.74)

第5項目

⑥ 1 田中一郎
2 田中正
3 田中恒夫
←(1/ 1)→
項目選択して→
決定 押す。
(例)1田中一郎

第6項目

⑦ 001
田中一郎
ﾀﾅｶｲﾁﾛｳ
1 00249441359234567
2 00249441254
3 00249441497
決定 押す。

第7項目

⑧ 1 発信番号選択
2 変更
3 消去
4 全消去
5 グループ消去
項目選択して→
決定 押す。
(例)1発信

第8項目

⑨ 1 00249441359234567
2345678
2 00249441254
3 00249441497
決定 または オンフック 押すとダイヤルします。

機能メニュー一覧

機能メニューは次のような階層になっています。

トップメニュー	ネクストメニュー			
第1項目	第2項目	第3項目	第4項目	第5項目
1 電話帳	1 検索	1 名前検索	[名前入力]	[電話帳選択]
		2 メモリ番号検索	[メモリ番号入力]	
		3 グループ検索	[グループ選択]	
		4 電話番号検索	[電話番号入力]	
		5 読み仮名検索	[読み仮名入力]	
	2 登録	1 名前(必須)	[名前入力]	
		2 読み仮名	[読み仮名入力]	
		3 電話番号(必須)	1 電話番号1の特番	[特番入力]
			2 電話番号1(必須)	[電話番号入力]
			3 電話番号2/3へ	1 グループ登録へ
				2 電話番号2
				3 電話番号3
		4 グループ	[グループ選択]	
		5 着信音色	[着信音選択]	
		6 確認	[電話帳表示]	
	3 グループ	[グループ選択]	1 名称変更	[名称入力]
			2 着信音色	[着信音選択]
	4 ダウンロード	1 短縮ダイヤル	[グループ選択]	[短縮ダイヤル入力]
2 履歴	1 発信履歴	[発信履歴選択]	1 発信	
			2 電話帳登録	⇒登録へ
			3 1件消去	1 いいえ
				2 はい
			4 全消去	1 いいえ
				2 はい
	2 着信履歴	[着信履歴選択]	1 発信	
			2 電話帳登録	⇒登録へ
			3 1件消去	1 いいえ
				2 はい
			4 全消去	1 いいえ
				2 はい

[ ]内は入力になります。

第6項目	第7項目	第8項目	初期値	備　考
[電話詳細表示]	1 発信番号選択	1(電話番号1) 2(電話番号2) 3(電話番号3)		受話器を上げるか、オンフック押下で発信。 [電話帳選択]:カーソルの電話帳の電話番号1に発信。 [電話帳詳細表示]電話番号1に発信。 通話の転送。 [電話帳選択]/[電話帳詳細表示]/第8項目の電話番号の選択中に転送ボタンを押す。 待機状態/通話中に←でも起動。
	2 変更	⇒登録へ		
	3 消去	1いいえ 2 はい		
	4 全消去	1いいえ 2 はい		
	5 グループ消去	1いいえ 2 はい		
				全角10文字、半角20文字まで入力可能。
				半角カナ/英数字で10文字まで入力可能。
				5桁まで入力可能。
				32桁まで入力可能(必須入力)。
1 特番	[特番入力]			5桁まで入力可能。
2 電話番号	[電話番号入力]			32桁まで入力可能。
1 特番	[特番入力]			5桁まで入力可能。
2 電話番号	[電話番号入力]			32桁まで入力可能。
				着信音優先順位①
			グループxx (xx:01~20)	推奨:全角9文字、半角18文字まで。
			無し	着信音優先順位②
[詳細情報表示]				
				受話器を上げるか、オンフック押下で発信。 [発着履歴選択]/[着信履歴選択]:表示中の電話番号に発信。 通話の転送。 [発着履歴選択]/[着信履歴選択]で履歴。 表示中に転送を押す。 待機状態/通話中に→で発信履歴が起動。 発着履歴表示中に→で着信履歴起動。

機能メニュー一覧（つづき）

トップメニュー	ネクストメニュー			
第1項目	第2項目	第3項目	第4項目	第5項目
3 電話機設定1	1 サウンド設定	1 着信種別毎音色	[着信種別選択]	[着信音選択]
		2 ボタン着信毎音色	[フリーファンクションボタン押下]	[着信音選択]
		3 最小着信音	1 最小 2 消音	
		4 ボタンタッチ音	1 無し 2 有り	
		5 レベル設定	1 送話レベル	1 小さく 2 大きく 3 初期値
			2 側音	1 小さく 2 大きく 3 初期値
			3 フロアレベル抑圧	1 無効 2 有効
	2 LCD設定	1 コントラスト	1 淡く 2 濃く 3 初期値	
		2 バックライト明度	1 標準 2 省電力	
		3 バックライト点灯時間	1 1分 2 3分 310分 4 消灯なし	
		4 バックライト着信時有無	1 点灯 2 消灯	
		5 バックライト操作時有無	1 点灯 2 消灯	
	3 履歴保存条件	1 発信履歴	1 外線発信履歴	1 保存する 2 保存しない
			2 専用線発信履歴	1 保存する 2 保存しない
			3 内線発信履歴	1 保存する 2 保存しない
		2 着信履歴	1 着信通話履歴	1 保存する 2 保存しない
			2 不在着信履歴	1 保存する 2 保存しない
	4 拡張機能	1 ヘッドセット付加	1 無し 2 有り	
		2 省電力モード設定	1 無効 2 有効	
		3 省電力移行時間	1 1分 2 3分 310分 4 30分	
		4 パスワード登録	[現パスワード入力]	[新パスワード入力]
		5 初期化	1 いいえ 2 はい	

[ ]内は入力になります。

第6項目	第7項目	第8項目	初期値	備　考
[登録内容表示]			なし	着信音優先順位④
[登録内容表示]			なし	着信音優先順位③
			最小	着信音を消すことができます。
			有り	ボタン操作時の音の有無を切替えます。
			3段目（3段階）	3段階 設定時は管理者にお問い合わせください。
			6段目（10段階）	10段階 設定時は管理者にお問い合わせください。
			無効	設定時は管理者にお問い合わせください。
			10段目（20段階）	20段階
			標準	バックライト点灯時の明度を切替えます。
			消灯なし	無操作後、設定時間が経過すると、バックライトが消灯します。 （設定有無によらず無操作後10秒で、省電力点灯になります。）
			点灯	着信時のバックライト点灯有無を設定します。
			点灯	ボタン操作時のバックライト点灯有無を設定します。
			保存する	発信履歴に外線発信を保存するかどうかを切替えます。
			保存する	発信履歴に専用線発信を保存するかどうかを切替えます。
			保存する	発信履歴に内線発信を保存するかどうかを切替えます。
			保存する	着信履歴に着信後に通話した相手を保存するかどうかを切替えます。
			保存する	着信履歴に着信に応答できなかった相手を保存するかどうかを切替えます。
			無し	設定時は管理者にお問い合わせください。
			無効	省電力モードの有効／無効を切替えます。
			30分	無操作後、設定時間が経過すると、バックライトとフリーファンクションボタンのランプが消灯します。
[新パスワード入力]			0000	4~8桁(初期値:0000)。
				電話機の設定が初期化されます。

機能メニュー一覧（つづき）

トップメニュー	ネクストメニュー				
第1項目	第2項目	第3項目	第4項目	第5項目	第6項目
4 電話機設定2	1 短縮ダイヤル	1 短縮ボタン発信 2 特番発信	[短縮ダイヤル入力] [特番+短縮番号入力]	[登録内容表示]	1 登録
					2 編集
					3 消去
	2 ボタン	[フリーファンクションボタン押下]	登録内容表示	1登録／編集	1 オートダイヤル
					2 外線ワンタッチ
					3 内線ワンタッチ
					4 自己保留
					1 転送完了
					2 DISC
					3 キャンセル
					4 セーブダイヤル
					1 メッセージウェイト
					2 他グループピックアップ
				2 消去	1 キャンセル 2 消去
	3 内線名称	登録内容表示	1 登録／編集	[名称入力]	登録内容表示
			2 消去	1 キャンセル 2 消去	
	4 Myナンバー	1 Myナンバー登録			
		2 席移動開始			
		3 Myナンバー表示	Myナンバー表示		
		4 グループデータコピー	[内線番号入力]	1 グループデータコピー 2 キャンセル	
5 ロック	1 解除する 2 ロックする				
6 アラーム	1 設定時間の変更	[時分入力]			
	2 アラームの設定 3 アラームの解除				

［　］内は入力になります。

第7項目	第8項目	第9項目	第10項目	第11項目	初期値	備　考
1 特番発信 2 外線発信 3 親PBX発信 4 PB送出用	［相手番号入力］	［名称入力］	［読み仮名入力］	登録内容表示		名称、読み仮名はシステム短縮ダイヤルのみ
1 発信種別	1 特番発信 2 外線発信 3 親PBX発信 4 PB送出用					
2 相手番号	［相手番号入力］					
3 名称	［名称入力］					システム短縮ダイヤルのみ
4 読み仮名	［読み仮名入力］	登録内容表示				システム短縮ダイヤルのみ
1 キャンセル 消去						
［相手番号入力］	登録内容表示					
［短縮番号入力］	登録内容表示					
［内線番号入力］	登録内容表示					
登録内容表示						
登録内容表示						
登録内容表示						
登録内容表示						
登録内容表示						
登録内容表示						
［グループ番号入力］	登録内容表示					上記の機能以外は変更できません。
						オプション機能が必要です。
					解除する	メニュー、電話機、履歴起動時にパスワードが要求されるようになります。
					00:00	00:00～23:59

こんなメッセージが出たら

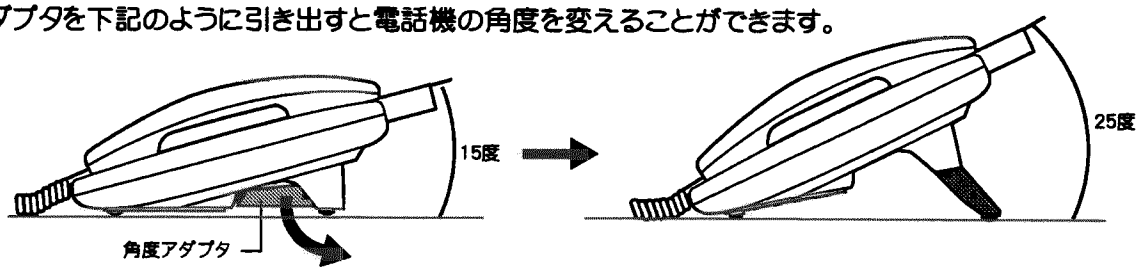
第4章と第5章の内容を操作しているときに、操作内容に間違いがあると表示器に下記のようなメッセージが表示されます。その意味は次のとおりです。

メッセージ	意　味
短縮番号が違います。	短縮番号が間違っています。[代理応答]ボタンで戻って短縮番号を修正してください。
特番+短縮番号が違います。	特番または短縮番号が間違っています。[代理応答]ボタンで戻って特番または短縮番号を修正してください。
この電話機からは登録消去はできません。	お使いの電話機では、登録内容表示は可能ですが登録(変更)消去はできません。
相手番号が違います。	相手番号が間違っています。[代理応答]ボタンで戻って相手番号を修正してください。
内線番号が違います。	内線番号が間違っています。[代理応答]ボタンで戻って内線番号を修正してください。
グループ番号が違います。	グループ番号が間違っています。[代理応答]ボタンで戻ってグループ番号を修正してください。
既に他のボタンに設定されています。	登録しようとした機能が他のボタンに設定されているか、登録(変更)できない機能ボタンに変更されています。
オプション機能が登録されていません。	オプション機能が登録されていません。Myナンバーメニューには席替えソフトオプションが必要です。
席移動中です。Myナンバー登録できません。	席移動中の回線では、Myナンバー登録はできません。
Myナンバー登録に失敗しました。	多機能電話機へのMyナンバー登録(書込み)に失敗しました。始めからもう一度、操作してください。
Myナンバーが登録されていません。	多機能電話機にMyナンバーが登録されていません。元の自席に電話機を持って行ってMyナンバー登録後、始めからもう一度操作してください。
Myナンバー取得に失敗しました。	多機能電話機からのMyナンバー取得に失敗しました。始めからもう一度、操作してみてください。
年月日曜が違います。	年月日曜が間違っています。[代理応答]ボタンで戻って年月日曜を修正してください。
時分が違います。	時分が間違っています。[代理応答]ボタンで戻って時分を修正してください。
暗証番号が違います。	暗証番号が間違っています。[代理応答]ボタンで戻って暗証番号を修正してください。

電話機角度／画面角度を変える

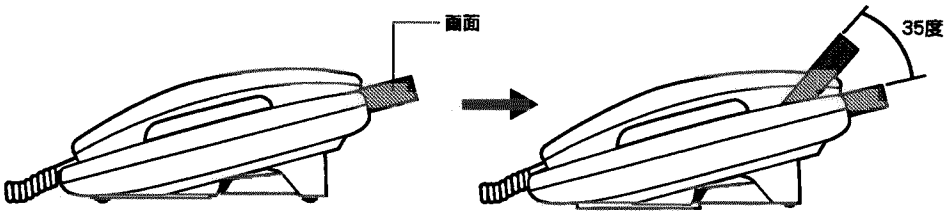
電話機の角度

角度アダプタを下記のように引き出すと電話機の角度を変えることができます。



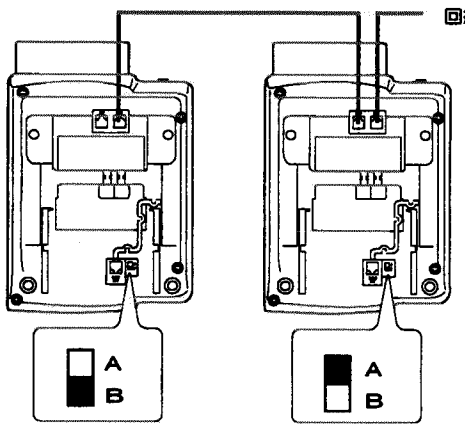
画面の角度

画面は下記の角度内で任意の位置において使用できます。



電話機のマルチ接続

本システムの電話機はマルチ接続(1回線に電話機を2台接続)でご利用になれます(取付時に販売店設定)。



マルチ接続設定スイッチ
(A/B切替スイッチ)

<ご注意>

マルチ接続になっている電話機は、その底面の"A/B切替スイッチ"がお互いが逆設定になっています。この設定を変えないでください。2台とも機能しなくなります。

⚠警告

接続コードの差替えは絶対にしないでください。誤って受話器コードをＭＦＴまたはＬＩＮＥに接続すると回線の電圧が受話器に加わり火災・感電・故障の原因となります。

主な仕様

多機能電話機

環境条件	温度:0～40℃ 湿度 TEL PFI 以外15～85%(結露なきこと) TEL PFI 25～85%(結露なきこと)
表示器	文字列:6行 1行当たりの文字数:半角で20 全角で10
	文字フォント:JIS第1水準、第2水準、JIS非漢字 6888字
外形寸法	約180(幅)×266(奥行)×94(高さ)mm
質量	約0.9kg

お客様メモ・・・・・購入年月日・購入店名を記入しておいてください。

NETTOWER CX9000	
購入日	年　　月　　日
購入店名	
	TEL

MB00041